

③①そして、あなたがたの中で、アッラーとかれの使徒にしっかり従い、アッラーが喜ぶ善行に励む人には、われらは倍加した報奨を与えよう。また、われらはかの女たちのために気前良い糧を準備した。それは楽園である。

③②預言者の妻たちよ、あなたがたは他の女性たちとは、その特典と気高さゆえに同じではない。そのレベルの高さは、他の女性たちがアッラーの命令に従い禁則を順守しても、とても手が届かないほどである。だからもしあなたがたがアッラーを意識するなら、心にある偽善と許されない欲情をたくましくしないように、他の男性と話すときは言葉を優しくしてはいけない。疑念が生じないように話し、真剣にして、そして気軽な風情ではものを言わないように。

③③あなたがたの家に静かにして、イスラーム以前の無知な時代のように男性の気をひくために華美な飾りをしてはいけない。完璧に礼拝の務めを守り、定めぬ施しをなし、アッラーとかれの使徒に従順でありなさい。預言者の妻たちとこの家の人びとよ、アッラーはあなたがたから危害と悪事を除き、心の不浄を払い、美德で飾り、悪徳を完全に追放し、何らの非難も残らないようにすることを望まれている。

③④また、あなたがたの家の中でアッラーの降ろされる啓示と純粋な預言者の言行に留意しなさい。誠に、アッラーはあなたがたを預言者の家に置かれて親切であり、あなたがたを預言者の妻となされ、また信者の母とされて、あなたがたをよくご存知なのである。

③⑤アッラーに帰依する男性と女性、信仰する男性と女性、敬虔な男性と女性、言動共に正直な男性と女性、試練と逆境に忍耐強い男性と女性、義務であれそうでなくても施しをする男性と女性、義務であれそうでなくても斎戒(断食)する男性と女性、姦通からは遠く貞淑な男性と女性、人に見られず、あるいは公然とアッラーを多く唱念する男性と女性。確かに、これらの人のために、アッラーは罪を赦し、復活の日に楽園という凄い報奨を準備した。

﴿٤٢٢﴾ وَمَنْ يَقْنُتْ مِنْكُمْ لِلَّهِ وَرَسُولِهِ وَتَعْمَلْ صَالِحًا حَتَّىٰ تَهَيَّأَ أَجْرَهَا مَرَّتَيْنِ وَأَعْتَدْنَا لَهَا رِزْقًا كَرِيمًا ﴿٤٢٣﴾ يَسَاءَ النَّبِيُّ لَسْتَنَّ كَأَحَدٍ مِنَ النِّسَاءِ إِنْ اتَّقَيْتُنَّ فَلَا تَخْضَعْنَ بِالْقَوْلِ فَيَطْمَعَ الَّذِي فِي قَلْبِهِ مَرَضٌ وَقُلْنَ قَوْلًا مَعْرُوفًا ﴿٤٢٤﴾ وَقَرْنَ فِي بُيُوتِكُنَّ وَلَا تَبَرَّجْنَ تَبَرُّجَ الْجَاهِلِيَّةِ الْأُولَىٰ وَأَقِمْنَ الصَّلَاةَ وَآتِينَ الزَّكَاةَ وَأَطِعْنَ اللَّهَ وَرَسُولَهُ إِنَّمَا يُرِيدُ اللَّهُ لِيُذْهِبَ عَنْكُمُ الرِّجْسَ أَهْلَ الْبَيْتِ وَيُطَهِّرَكُمْ تَطْهِيرًا ﴿٤٢٥﴾ وَأَذْكُرَنَّ مَا بُيُوتِكُنَّ مِنْ آيَاتِ اللَّهِ وَالْحِكْمَةِ إِنَّ اللَّهَ كَانَ لَطِيفًا خَبِيرًا ﴿٤٢٦﴾ إِنَّ الْمُسْلِمِينَ وَالْمُسْلِمَاتِ وَالْمُؤْمِنِينَ وَالْمُؤْمِنَاتِ وَالْقَانِتِينَ وَالْقَانِتَاتِ وَالصَّادِقِينَ وَالصَّادِقَاتِ وَالصَّابِرِينَ وَالصَّابِرَاتِ وَالْخَاشِعِينَ وَالْخَاشِعَاتِ وَالْمُتَصَدِّقِينَ وَالْمُتَصَدِّقَاتِ وَالصَّابِتِينَ وَالصَّابِتَاتِ وَالْحَافِظِينَ فُرُوجَهُمْ وَالْحَافِظَاتِ وَالذَّاكِرِينَ اللَّهَ كَثِيرًا وَالذَّاكِرَاتِ أَعَدَّ اللَّهُ لَهُمْ مَغْفِرَةً وَأَجْرًا عَظِيمًا ﴿٤٢٧﴾

本諸節の功德:

- ムスリマ(女性)への教えは、言葉を優しくすることを禁じ、必要な時以外は家に留まること、美を見せびらかさないことである。
- 預言者の家の人びととかれの妻たちの美德。
- アッラーが特例を設けられたものを除いては、男女間の平等の原則はその言動と報奨の関係にみられる。

وَمَا كَانَ لِمُؤْمِنٍ وَلَا لِمُؤْمِنَةٍ إِذَا قَضَى اللَّهُ وَرَسُولُهُ أَمْرًا أَنْ يَكُونَ لَهُمُ الْخِيَرَةُ مِنْ أَمْرِهِمْ وَمَنْ يَعْصِ اللَّهَ وَرَسُولَهُ فَقَدْ ضَلَّ ضَلَالًا مُّبِينًا ﴿٣٦﴾ وَإِذْ تَقُولُ لِلَّذِي أَنْعَمَ اللَّهُ عَلَيْهِ وَأَنْعَمْتَ عَلَيْهِ أَمْسِكْ عَلَيْكَ زَوْجَكَ وَاتَّقِ اللَّهَ وَتُخْفِي فِي نَفْسِكَ مَا اللَّهُ مُبْدِيهِ وَتَخْشَى النَّاسَ وَاللَّهُ أَحَقُّ أَنْ تَخْشَاهُ فَلَمَّا قَضَى زَيْدٌ مَهْرًا وَطَرَأَ زَوْجَتُكَهَا لَيْكِي لَا يَكُونَ عَلَى الْمُؤْمِنِينَ حَرَجٌ فِي أَزْوَاجِ أَدْعِيَائِهِمْ إِذَا قَضَوْا مِنْهُنَّ وَطَرَأَ وَكَانَ أَمْرُ اللَّهِ مَفْعُولًا ﴿٣٧﴾ مَا كَانَ عَلَى النَّبِيِّ مِنْ حَرَجٍ فِيمَا فَرَضَ اللَّهُ لَهُ سُنَّةَ اللَّهِ فِي الَّذِينَ خَلَوْا مِنْ قَبْلُ وَكَانَ أَمْرُ اللَّهِ قَدَرًا مَقْدُورًا ﴿٣٨﴾ الَّذِينَ يُبَايِعُونَ رَسُولَ اللَّهِ وَمَنْ يَبَيْعْهُ فَلَا يَحْشَوْنَهُ أَحَدًا إِلَّا اللَّهَ وَكَانَ بِاللَّهِ حَسِيبًا ﴿٣٩﴾ مَا كَانَ مُحَمَّدٌ أَبَا أَحَدٍ مِنْ رِجَالِكُمْ وَلَكِنْ رَسُولَ اللَّهِ وَخَاتَمَ النَّبِيِّينَ وَكَانَ اللَّهُ بِكُلِّ شَيْءٍ عَلِيمًا ﴿٤٠﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا أَذْكُرُوا اللَّهَ ذِكْرًا كَثِيرًا ﴿٤١﴾ وَسَبِّحُوهُ بُكْرَةً وَأَصِيلًا ﴿٤٢﴾ هُوَ الَّذِي يُصَلِّيْ عَلَيْكُمْ وَمَلَائِكَتُهُ لِيُخْرِجَكُم مِّنَ الظُّلُمَاتِ إِلَى النُّورِ وَكَانَ بِالْمُؤْمِنِينَ رَحِيمًا ﴿٤٣﴾

く、ザイドの生みの父親でもなかったので、離婚後の元妻との結婚は許されるということである。しかしアッラーの使徒であり、また預言者たちの封印である。アッラーはその僕のことを、すべてご存知である。

〔41〕信仰する人びとよ、アッラーを常に唱念しなさい。心と舌と身体でもって。

〔42〕朝な夕なに、至高で唯一なるアッラーを賛美しなさい。

〔43〕かれこそは、あなたがたを暗黒から光明に連れ出すために、天使たち共々あなたがたを祝福する方である。かれは信者に慈悲深い。帰依して、命令には従い、禁則を順守する人に、苦痛を与えられることはない。

本諸節の功德:

●信者はアッラーの命令に従って、それに導かれることが義務である。

●アッラーは信者の心の内を熟知されている。

●信者の母であるザイナブ・ピント・ジャハシュの特性の一つとして、アッラーは彼女の結婚契約を七つの天国の上から成立させられた。

●特に朝と夕方に、アッラーを唱えることの功德。

〔36〕信仰する男性も女性も、アッラーとかれの使徒が何かを決めたときには、勝手に選択すべきではない。アッラーとかれの使徒に背く人は、明らかに道を誤った人だ。

〔37〕預言者よ、アッラーが恩恵を授け、またあなた(ムハンマド)も親切を尽くした人(養子のザイド・ビン・ハリサ)に、あなたは彼が妻ザイナブ・ピント・ジャハシュの離婚について相談に来たのでこう言った。妻(ザイナブ)をあなた(ザイド)自身の元に留め、離婚はしないように、そしてアッラーを意識しなさいと。あなた(ムハンマド)はかれの離婚後は、アッラーが命じるだろう養子ザイドの元妻との結婚を自分の中に隠し、人びとのことを恐れていた。むしろ、あなたはアッラーを畏れるべきだったのだ。それで、ザイドがかの女(ザイナブ)について所要な手続きを済ませ(離婚した)とき、われらはあなた(ムハンマド)をかこの女と結婚させた。こうすることで信者が所要の離婚後の待婚期間を終えたなら、自分の養子の(元)妻たちでも結婚できるようにしたのである。このようにいつも、アッラーの命令を阻止するものではなく、それは完遂される。

〔38〕自分の養子の元妻たちでも離婚後に結婚したことについて、預言者は罪を問われることはない。これはあなた以前の使徒たちに関するアッラーの慣行でもあり、その逸脱ではなかった。アッラーの命令は、動かせない定めなのであり、そこに意見や選択はなく、預言者は元妻との結婚と養子関係の解除という命令を実施したのであった。

〔39〕預言者たちはアッラーのお告げを人びとに伝え、かれを畏れ、またアッラー以外の何ものをも畏れない人びとであった。アッラーが許されたことを実行するのに、他の人が言うことには注意を払わなかった。アッラーは人間の言動の清算者として万全である。善には善を、悪には悪をもって報われるのだ。

〔40〕ムハンマドは、あなたがたの男性の誰の父親でもな

④④ かれらがかれに会う審判の日の挨拶は、あらゆる悪から逃れる平安と安全の言葉だ。かれはかれらのために、気前良い報奨である楽園を準備した。それは命令に従い、禁則を順守したためである。

④⑤ 預言者(ムハンマド)よ、確かにわれらはあなたを人びとに対する、楽園の吉報を伝える伝達者として、そして不信仰者への懲罰の警告者として遣わした。

④⑥ また、アッラーのみを崇めて、そしてかれの命令に服従するように招く人として、また光明を行き渡らせる導きの灯明として遣わした。

④⑦ だから、信者たちにアッラーからの偉大な恩寵があるとの吉報を伝えなさい。偉大な定めと、素晴らしい報奨である現世での支援と来世での楽園である。

④⑧ 非信者たちや偽信者たちに従ってはいけない。かれらの妨害を意にとめず、ただひたすらアッラーを信頼しなさい。そうすることは、あなたがたが伝えることを信じさせるのに、一層有効かもしれない。敵に対抗してあなたがたを支援するアッラーは、帰依すべきで、現世と来世にわたって保護者として万全なのである。

④⑨ 信仰する人びとよ、アッラーの定めを守る人びとよ。あなたがたが信者の女性と結婚して、かの女に触れる前に離婚する場合は、かの女らについて月経の回数や定めの待婚期限を計算する必要はない。というのは、かの女たちに触れていないのだから、その子宮は問題ないからだ。しかし離婚による心理的なダメージを慰めるために、かの女たちにはあなたの財政に合わせて補填を与え、また面目を立ててかの女たちが実家に帰れるようにしなさい。

⑤⑩ 預言者(ムハンマド)よ、われらがあなたの妻として許した人は、あなたが婚資を与えた妻たち、またアッラーがあなたに授けた戦利品のうち、あなたの女性の奴隷、あなたと共にマッカからマディーナに移住してきたあなたの父方のおじとおばの娘たちや母方のおじとおばの娘たち、また信仰する女性で自らを預言者に献上したいという人で、もし預言者がかの女と結婚を欲するなら許される。これはあなた(預言者)だけの特例で、他の人びとには許されない。また信者は一時に4人までは結婚できる。さらにわれらは信者たちが数に制限なく、女奴隷とは結婚可能であると定めた。また以上の中にあるように、他の人には許さなかった事柄もあなたには許したので、あなたが責められて困ることはないだろう。アッラーは悔い改める人はよく赦す方であり、慈悲深いお方である。

يَحْيَتُهُمْ يَوْمَ يَقُولُهُ وَسَلَّمَ وَأَعَدَّ لَهُمْ أَجْرًا كَمَا يَتَأَيَّهَا
النَّبِيُّ إِنَّا أَرْسَلْنَاكَ شَهِدًا وَمُبَشِّرًا وَنَذِيرًا ④⑤ وَدَاعِيًا
إِلَى اللَّهِ بِآذِنِهِ وَسِرَاجًا مُنِيرًا ④⑥ وَيُبَشِّرَ الْمُؤْمِنِينَ بِأَنَّ لَهُمْ
مِّنَ اللَّهِ فَضْلًا كَثِيرًا ④⑦ وَلَا تَطْعُ الْكُفْرِينَ وَالْمُنَافِقِينَ
وَدَعِ أَذْنَهُمْ وَتَوَكَّلْ عَلَى اللَّهِ وَكَفَى بِاللَّهِ وَكِيلًا ④⑧
يَتَأَيَّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا إِذْ أَنْكَحْتُمُ الْمُؤْمِنَاتِ ثُمَّ طَلَقْتُمُوهُنَّ
مِنْ قَبْلِ أَنْ تَمْسُوهُنَّ فَمَا لَكُمْ عَلَيْهِنَّ مِنْ عِدَّةٍ تَعْتَدُونَهَا
فَتَعُوهُنَّ وَسِرَّوَهُنَّ سِرَاحًا جَوِيلًا ④⑨ يَتَأَيَّهَا النَّبِيُّ
إِنَّا أَحَلَّلْنَا لَكَ أَزْوَاجَكَ الَّتِي ءَاتَيْتَ أَجُورَهُنَّ وَمَا مَلَكَتْ
يَمِينُكَ وَمِمَّا أَفَاءَ اللَّهُ عَلَيْكَ وَبَنَاتِ عِمَّاكِ وَبَنَاتِ عَمَّتِكَ
وَبَنَاتِ خَالِكَ وَبَنَاتِ خَالَاتِكَ الَّتِي هَاجَرْنَ مَعَكَ وَأَمْرَأَةً
مُّؤْمِنَةً إِنْ وَهَبَتْ نَفْسَهَا لِلنَّبِيِّ إِنْ أَرَادَ النَّبِيُّ أَنْ يَسْتَنْكِحَهَا
خَالِصَةً لَّكَ مِنْ دُونِ الْمُؤْمِنِينَ ⑤⑩ قَدْ عَلِمْنَا مَا فَرَضْنَا
عَلَيْهِمْ فِي أَزْوَاجِهِمْ وَمَا مَلَكَتْ أَيْمَانُهُمْ لِيَكِيلًا
يَكُونَ عَلَيْكَ حَرَجٌ وَكَانَ اللَّهُ غَفُورًا رَّحِيمًا ⑤⑪

本諸節の功德:

- 危害に対する忍従は、成功する宣教師の特性の一つである。
- 触れなかったにしても、離婚した女性に補填を慰めとして与えるのは望ましい。
- 自らを預言者に提供した女性とは、婚資を与えなくても預言者は結婚できる。

* تَرْجِي مَن تَشَاءُ مِنْهُنَّ وَتُؤَيِّ إِلَيْكَ مَن تَشَاءُ وَمَن ابْتَعَيْتَ
 مِمَّنْ عَزَلْتَ فَلَا جُنَاحَ عَلَيْكَ ذَلِكَ أَدْنَىٰ أَن تَقْرَءَ عَيْنَهُنَّ
 وَلَا تَحْزَنَ وَيَرْضَيْنَ بِمَا آتَيْتَهُنَّ كُلَّهُنَّ وَاللَّهُ يَعْلَمُ
 مَا فِي قُلُوبِكُمْ وَكَانَ اللَّهُ عَلِيمًا حَلِيمًا ﴿٥١﴾ لَا يَجِلُّ لَكَ
 النِّسَاءُ مَن بَعْدَ وَلَا أَن تَبَدَّلَ بِهِنَّ مِثْلَهُنَّ وَلَوْ أَجْعَبَكَ
 حُسْنُهُنَّ إِلَّا مَا مَلَكَتْ يَمِينُكَ وَكَانَ اللَّهُ عَلَىٰ كُلِّ
 شَيْءٍ رَّقِيبًا ﴿٥٢﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا تَدْخُلُوا بُيُوتَ النَّبِيِّ
 إِلَّا أَن يُؤْذَنَ لَكُمْ إِلَىٰ طَعَامٍ غَيْرَ نَظِيرِ مَنِ آتَاهُ وَلَٰكِن
 إِذَا دُعِيتُمْ فَادْخُلُوا فَإِذَا طَعِمْتُمْ فَانْنَشَرُوا وَلَا مُسْتَسِينِينَ
 لِحَدِيثِ إِنَّ ذَلِكُمْ كَانَ يُؤْذَى النَّبِيَّ فَيَسْتَجِيءُ مِنْكُمْ
 وَاللَّهُ لَا يَسْتَجِيءُ مِنَ الْحَقِّ وَإِذَا سَأَلْتُمُوهُنَّ مَتَاعًا فَسْأَلُوهُنَّ
 مِن وَرَائِ حِجَابٍ ذَلِكُمْ أَطْهَرُ لِقُلُوبِكُمْ وَقُلُوبِهِنَّ
 وَمَا كَانَ لَكُمْ أَن تُؤْذُوا رَسُولَ اللَّهِ وَلَا أَن تَنَكِّحُوا أَزْوَاجَهُ
 مِن بَعْدِهِ أَبَدًا إِنَّ ذَلِكُمْ كَانَ عِنْدَ اللَّهِ عَظِيمًا ﴿٥٣﴾
 إِن تَبَدُّوا شَيْئًا أَوْ خَفُوهُ فَإِنَّ اللَّهَ كَانَ بِكُلِّ شَيْءٍ عَلِيمًا ﴿٥٤﴾

⑤① あなた(ムハンマド)は望むように、かの女たちの中から夜を過ごすのを先送りし、あるいはまた受け入れてもかまわない。またあなたが寢床を共にすることを退けていた人を欲しても、責めはない。先送りしたり、範囲を拡張したりするのは、かの女らを悲しませず、またあなたがかの女たち全員に与えるものでかの女たちの目を冷やす(喜ばせる)ためにより適切なのである。かの女たちは、あなたが義務を放棄せずに、また権利を全うしないことはないということを知っているからである。アッラーはあなたがたが胸に抱く、好みに傾向性があることも知っている。アッラーは全知にして隠せるものはなく、処罰をすぐにはしないで改心するのを待つほどに、度量が広いのだ。

⑤② 今後はあなたに現在以外の女性との結婚は許されない。離婚した後に、さらに結婚することも許されない。また、たとえ美貌があなたの気をひいても、妻たちを取り替えることもできない。ただし、あなたの右手が所有する女奴隷とは数に制限なくできる。アッラーはすべてのことの擁護者である。この定めは、預言者の妻たちの特性を示している。というのは、かの女たちを預言者が離婚できないこと、そしてその代わりに結婚もできないからである。

⑤③ 信仰する人びとよ、あなたがたが食事のために招かれて入室の許しを得る以外は、預言者(ムハンマド)の家に入ってはいけない。ただし早く着きすぎて、その食事の準備中、長々と待つことがないように。そして食事後は速やかに退去すべし。世間話に長居してはいけない。このことが預言者に迷惑であっても、預言者はあなたがたを(退出させることを)遠慮するだろう。しかし、アッラーは真実を命じることを遠慮されない。また、あなたがたがかの女ら(ムハンマドの妻たち)に食器のこなど、何ごとでも尋ねるときは、面と向かってではなく、帳の後方からにしろ。それは預言者の立ち位置を考えてもそうだし、またその方があなたがたの心、またかの女らの心にとって一番清浄で、悪魔が心に咬き、悪を美に見せかけ

ないためである。また、あなたがたは食後の社交で迷惑をかけ、あるいは預言者の没後にその妻と結婚することなどで、アッラーの使徒を悩ますようなことがあってはいけない。かの女たちは信者の母親なので、自分の母親とは誰であれ結婚は許されないからである。また、あなたがたはどんな場合でも、かれ(ムハンマド)の死後にかれの妻たちと結婚するなどの不当な行為は禁止され、それはアッラーの御元において大罪である。

⑤④ あなたがたが何かを現してもまた隠しても、アッラーはすべてのことをご存知。あなたの言動の善には善を、悪には悪の報いをされる。

本諸節の功德:

- 教友たちが預言者(アッラーの祝福と平安を)の家で長居したが、それは迷惑行為だと非難された。これは預言者の主の御元での、格別の立ち位置ということである。
- 至高なるアッラーの、知識と寛大さという二大特性の確認。
- 恥じらひは預言者の特性の一つ。
- 預言者(アッラーの祝福と平安を)の妻たちの信者の母親という立場の保全。

لَا جُنَاحَ عَلَيْهِمْ فِيءِ آبَائِهِمْ وَلَا أَبْنَائِهِمْ وَلَا إِخْوَانِهِمْ وَلَا
 أَبْنَاءَ إِخْوَانِهِمْ وَلَا أَبْنَاءَ أَخْوَانِهِمْ وَلَا سَيِّبِهِمْ وَلَا مَمْلُوكَاتِكِ
 أَيَّمَنَهُنَّ ۗ وَأَتَّقِبِ ۗ إِنَّ اللَّهَ كَانَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ شَهِيدًا
 ٥٥ ۗ إِنَّ اللَّهَ وَمَلَائِكَتَهُ يُصَلُّونَ عَلَى النَّبِيِّ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ
 ءَامَنُوا صَلُّوا عَلَيْهِ وَسَلِّمُوا تَسْلِيمًا ۗ ٥٦ ۗ إِنَّ الَّذِينَ يُؤْذُونَ
 اللَّهَ وَرَسُولَهُ لَعَنَهُمُ اللَّهُ فِي الدُّنْيَا وَالْآخِرَةِ وَأَعَدَّ لَهُمْ عَذَابًا
 مُهِينًا ۗ ٥٧ ۗ وَالَّذِينَ يُؤْذُونَ الْمُؤْمِنِينَ وَالْمُؤْمِنَاتِ بَغَيْرِ
 مَا كَسَبُوا فَقَدْ أَحْتَمَلُوا بُهْتَانًا وَإِثْمًا مُّبِينًا ۗ ٥٨
 يَا أَيُّهَا النَّبِيُّ قُلْ لَأَزْوَاجِكِ وَبَنَاتِكِ وَنِسَاءَ الْمُؤْمِنِينَ
 يُؤْذِينَ عَلَيْهِنَّ مِنْ جَلْبَابِهِنَّ ذَلِكَ آدْنَىٰ أَنْ يُعْرَفْنَ فَلَا
 يُؤْذِينَ ۗ وَكَانَ اللَّهُ غَفُورًا رَحِيمًا ۗ ٥٩ ۗ لَئِنْ لَمْ يَنْتَهِ الْمُنْفِقُونَ
 وَالَّذِينَ فِي قُلُوبِهِم مَّرَضٌ وَالْمُرْجِفُونَ فِي الْمَدِينَةِ
 لَنُغْرِبَنَّكَ بِهِمْ ثُمَّ لَا يُجَاوِرُونَكَ فِيهَا إِلَّا قَلِيلًا ۗ ٦٠ ۗ مَلْعُونِينَ
 أَيُّمَاتُكُمْ أُخَذُوا وَقْتَلُوا تَقْتِيلًا ۗ ٦١ ۗ سُنَّةَ اللَّهِ فِي
 الَّذِينَ خَلَوْا مِنْ قَبْلُ وَلَنْ تَجِدَ لِسُنَّةِ اللَّهِ تَبْدِيلًا ۗ ٦٢

شَدِيدٌ

الْحَزْنُ

١٢

⑤⑤帳がなくてもかの女(預言者の妻)たちが目にしたり話したりするのに罪ではない人は、かの女たちの父とその息子たち、かの女たちの兄弟とその息子たちやかの女たちの姉妹の息子たちで、血縁でも乳母の関係でも構わない。また信者の女性たちやかの女たちの右手が所有する人びとも、そうである。信仰する女性よ、アッラーを意識し、その命令に服しなさい。誠に、アッラーはあなたがたのすべてのことを監視されている。

⑤⑥真に、アッラーは天使たちに対して使徒のことを称えて、天使たちはかれのために祈念する。信仰する人びとよ、あなたがたはかれを称えて、その平安を大いに祈願しなさい。

使徒のことを称えて祝福するようにアッラーが命じられた時、かれに危害を加えることを禁じられた。

⑤⑦確かに、アッラーと使徒を言葉と行動で害する人には、アッラーは現世でも来世でもその慈悲から遠ざけて、かれらのために来世で恥ずべき苦痛を準備した。

⑤⑧また、男性の信者と女性の信者を、相応の罪を犯さなかったのに害する人は、虚偽と明白な罪を負ったことになる。

⑤⑨預言者(ムハンマド)よ、あなたの妻、その娘たち、また信者の妻たちにも、長衣を下まで垂らすように言いなさい。そうすればかの女たちは自由な女性であることが分かり、奴隷の女性が蒙るような危害を受けないだろう。アッラーは悔い改める僕をよく赦す方であり、慈悲深いお方なのだ。

⑥⑩もし偽信者、欲望に縛られて心に病のある人、そしてマディーナの町中で分裂させるために噂する人びとが止めなければ、われらはあなた(ムハンマド)にかれらを処罰させる。そうすれば、破滅するか追放させられて、われらはあなたの隣人としてほとんどいられないだろう。

⑥①かれらはアッラーの慈悲から拒否され、どこであれ見つかり次第捕えられ、殺される。かれらの偽善と地上に腐敗を及ぼしたためである。

⑥②これは偽善者に関する、昔の過ぎ去った人びとについてのアッラーの慣行で、あなたはアッラーの慣行には何の変更も見出せない。

本諸節の功德:

- アッラーと天使たちから見ての、預言者ムハンマドの高い地位。
- 理由なく信者に危害を加えてはならないこと。
- 偽善は懲罰の原因となる。

يَبْعَثُكَ النَّاسُ عَنِ السَّاعَةِ قُلْ إِنَّمَا عَاهَدْتُكُمْ وَمَا يَدْرِيكَ
 لَعَلَّ السَّاعَةَ تَكُونُ قَرِيبًا ﴿٦٦﴾ إِنَّ اللَّهَ لَعَنَ الْكٰفِرِينَ وَأَعَدَّ
 لَهُمْ سَعِيرًا ﴿٦٧﴾ خٰلِدِينَ فِيهَا أَبَدًا لَا يَجِدُونَ وَلِيًّا وَلَا نَصِيرًا
 ﴿٦٨﴾ يَوْمَ تُقَلَّبُ وُجُوهُهُمْ فِي النَّارِ يَقُولُونَ يٰلَيْتَنَا أَطَعْنَا اللَّهَ
 وَأَطَعْنَا الرَّسُولَ ﴿٦٩﴾ وَقَالُوا رَبَّنَا إِنَّا أَطَعْنَا سَادَتَنَا وَكُبَرَاءَنَا
 فَأَضَلُّونَا السَّبِيلًا ﴿٧٠﴾ رَبَّنَا آتِنَاهُمْ لِقَابَهُمْ مِنَ الْعَذَابِ
 وَالْعَنَاهُمْ لَعْنًا كَبِيرًا ﴿٧١﴾ يٰأَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا تَكُونُوا كَالَّذِينَ
 ءَادُوا مُوسَى فَبَرَّاهُ اللَّهُ مِمَّا قَالُوا وَكَانَ عِنْدَ اللَّهِ وَجِيهًا ﴿٧٢﴾
 يٰأَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا اتَّقُوا اللَّهَ وَفُولُوا قَوْلًا سَدِيدًا ﴿٧٣﴾ يُصْلِحْ
 لَكُمْ أَعْمَالَكُمْ وَيَغْفِرْ لَكُمْ ذُنُوبَكُمْ وَمَنْ يُطِيعِ اللَّهَ وَرَسُولَهُ
 فَقَدْ فَازَ فَوْزًا عَظِيمًا ﴿٧٤﴾ إِنَّا عَرَضْنَا الْأَمَانَةَ عَلَى السَّمَوَاتِ
 وَالْأَرْضِ وَالْجِبَالِ فَأَبَيْنَ أَنْ يَحْمِلْنَهَا وَأَشْفَقْنَ مِنْهَا وَحَمَلَهَا
 الْإِنْسَانُ إِنَّهُ كَانَ ظَلُومًا جَهُولًا ﴿٧٥﴾ لِيُعَذِّبَ اللَّهُ الْمُنَافِقِينَ
 وَالْمُنَافِقَاتِ وَالْمُشْرِكِينَ وَالْمُشْرِكَاتِ وَيَتُوبَ اللَّهُ
 عَلَى الْمُؤْمِنِينَ وَالْمُؤْمِنَاتِ وَكَانَ اللَّهُ غَفُورًا رَحِيمًا ﴿٧٦﴾

言いなさい。

〔71〕かれはあなたがたが意識して言動を正しくすれば、正しい行為を受け入れて、諸々の罪を消去し、それを罪の計算に入れない。アッラーとその使徒に従う人は、確かに比較できないような偉大な勝利を達成する人である。それはアッラーの満悦を獲得し、楽園に入るといふ成功である。

〔72〕実は、われらは諸天と大地と山々に教えを守り、富を守り、秘密を秘匿する義務を命じたが、しかしその結果を恐れて、それらはその義務を担うことを辞退した。一方、人間はそれを担った。実に人間は、自分を圧迫して、そういったことの結果を恐れてはいなかったのだ。

〔73〕アッラーは偽信者の男性たちと女性たちや、多神教徒の男性たちと女性たちを処罰する。そして、アッラーは信仰する男性たちと女性たちに慈悲をかける。アッラーは悔いる人をよく赦す方であり、慈悲深いお方である。

本諸節の功德:

- 審判の時は、アッラーのみが知っている。
- 逸脱の罪を上司のせいにする人は、その責めを逃れるものではない。
- 預言者を言動で危害を加えることは、厳しく禁じられていること。
- 人間が背負った責任の重大さ。

〔65〕使徒よ、多神教徒たちはあなた(ムハンマド)に(審判の)時について拒否しつつ、いつ来るのかと尋ねるし、ユダヤ教徒たちもそうするだろう。言いなさい。確かに、その知識はアッラーの御元にある。どうしてあなたに分かるだろうか。使徒よ、その時は近いかもしれないのだ。

〔64〕確かに、至高なるアッラーは非信者をその慈悲から拒否し、かれらのために最後の審判のための烈火を準備した。

〔65〕かれらは永遠にその中に住み、益する保護者も保護する援助者も見出せない。

〔66〕その日、かれらの顔は火の中でひっくり返され、かれらは酷い後悔と共に言う。ああ、わたしたちはアッラーの命令に従い禁則を守っていたらよかったのに、そして使徒が主からもたらしたことに従えばよかったのに。

〔67〕また、かれらは弱々しい口実として言うだろう。わたしたちの主よ、確かに、わたしたちは頭領や権力者たちに従っていたが、かれらがわたしたちを正しい道から迷わせたのだ。

〔68〕わたしたちの主よ、かれらの苦痛を2倍にして、完全にあなたの慈悲から拒否してくださいと。

〔69〕信仰してアッラーの命令に服従する人びとよ、ムーサーに危害を加えた人のようであってははいけない。ムーサーの身体的な欠陥を指摘したが、アッラーはかれらが(ムーサーについて)言った中傷から、かれ(ムーサー)を清めた。アッラーの御元で、かれは高い栄誉を与えられている。そしてかれの嘆願は聞き入れられ、その努力は無駄にならなかった。

〔70〕信仰する人びとよ、アッラーを意識しなさい。そして命令に従い、禁則を守りなさい。また実直な言葉でものを

سُورَةُ سَابِإٍ ٤٢٨

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

الْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي لَهُ مَا فِي السَّمَوَاتِ وَمَا فِي الْأَرْضِ وَلَهُ الْحَمْدُ فِي الْآخِرَةِ وَهُوَ الْحَكِيمُ الْخَبِيرُ ① يَعْلَمُ مَا يَلِجُ فِي الْأَرْضِ وَمَا يَخْرُجُ مِنْهَا وَمَا يَنْزِلُ مِنَ السَّمَاءِ وَمَا يَعْرُجُ فِيهَا وَهُوَ الرَّحِيمُ الْغَفُورُ ② وَقَالَ الَّذِينَ كَفَرُوا لَا تَأْتِينَا السَّاعَةُ قُلْ بَلَىٰ وَرَبِّي لَتَأْتِيَنَّكُمْ عَلَيْهِ الْعَذَابُ لَا يَعْرِفُ عَنْهُ مِثْقَالَ ذَرَّةٍ فِي السَّمَوَاتِ وَلَا فِي الْأَرْضِ وَلَا أَصْعَرُ مِنْ ذَلِكَ وَلَا آكُفِرُ إِلَّا فِي كِتَابٍ مُّبِينٍ ③ لِيَجْزِيَ الَّذِينَ ءَامَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ أُولَٰئِكَ لَهُمْ مَغْفِرَةٌ وَرِزْقٌ كَرِيمٌ ④ وَالَّذِينَ سَعَوْا فِي ءَايَاتِنَا مُعْجِزِينَ أُولَٰئِكَ لَهُمْ عَذَابٌ مِنْ رَجْزِ آيِمٍ ⑤ وَيَرَى الَّذِينَ أُوتُوا الْعِلْمَ الَّذِي أُنزِلَ إِلَيْكَ مِنْ رَبِّكَ هُوَ الْحَقُّ وَيَهْدِي إِلَى صِرَاطٍ الْعَزِيزِ الْحَمِيدِ ⑥ وَقَالَ الَّذِينَ كَفَرُوا هَلْ نَدُلُّكُمْ عَلَىٰ رَجُلٍ يُنَبِّئُكُمْ إِذَا مَرَّ قَسَمٌ كُلِّ مُمْرَقٍ إِنَّكُمْ لَفِي خَلْقٍ جَدِيدٍ ⑦

本章の趣旨:

人々の状況の変化におけるアッラーの恵みと慣行の説明

説明:

① 諸天にあり地にあるもの、すべてを所有されるアッラーに称賛あれ。すべては**かれ**の創造によるので、**かれ**の所有し管理されるもの。来世においても、**かれ**にこそすべての称賛はある。**かれ**は英明にして、すべてお見通し。僕らの状況を知り尽くし、かれからは何事も隠しておけない。

② **かれ**は大地に入るもの(水や植物など)、またそれから出るもの(植物など)をすべて知り、また天から降りるもの(雨や天使や糧など)、そしてそこに昇るもの(天使や僕らの行為や魂など)すべてを知っている。**かれ**は慈悲深いお方で、悔いる人にはよく赦す方である。

③ 信仰のない人びとは言う。(審判の)時は、わたしたちには来ないのかと。使徒よ、言え。いいえ。わたしの主に誓って、それは必ずあなたがたにやって来る。**かれ**は時間のように、目に見えない世界もご存知の方だ。諸天においても地においても、小さな蟻の重量も、**かれ**が知らないものはない。またそれより小さいものも、大きいものも、最後の審判の日まで生起するあらゆる事柄が、明瞭な保管された碑板に記されないものはない。

④ その碑板に定められたものは、**かれ**が信仰して善行をする人びとを報いるためである。これらの人びとにこそ、赦しがあり、罪を罰せられることはない。そして審判の日における気前のいい恵みとは、樂園である。

⑤ でも、**われら**の印を虚しくしようとして、それは魔術だとして、預言者は占い師で魔術師、そして詩人だと言い張る人びと、これらの人びとには審判の日に最悪で最も厳しい苦痛がある。

⑥ 教友や啓典を信じる者で知識を授かった人びとなら、あなたの主からあなたに啓示されたものが真理で、それ(真理)に疑いはなく、それが偉力大かつ称賛すべき方(アッラー)の道に導くものであることは分かるだろう。その道を支配する者はなく、それは現世と来世において、称えられるべきものである。

⑦ そして非信者たちは互いに驚いて、また預言者がもたらしたことを軽蔑しながら言う。あなたがたが死んで粉々にされた後、復活するなどと告げる人が誰かを示そうか?

本諸節の功德:

- アッラーの知識はすべてを覆うこと。
- 知識を有する人たちの有難み。
- 多神教徒が復活を否定するのは、かれらを創造したアッラーの力量を否定することになる。

أَفْتَرَىٰ عَلَى اللَّهِ كَذِبًا أَمْ بِهِ جِنَّةٌ بَلِ الَّذِينَ لَا يُؤْمِنُونَ بِالْآخِرَةِ
 فِي الْعَذَابِ وَالضَّلَالِ الْبَعِيدِ ﴿٨﴾ أَفَلَمْ يَرَوْا إِلَىٰ مَا بَيْنَ أَيْدِيهِمْ
 وَمَا خَلْفَهُمْ مِنَ السَّمَاءِ وَالْأَرْضِ إِن نَّشَاءْ نُخَسِفْ بِهِمُ الْأَرْضَ
 أَوْ نُسْقِطْ عَلَيْهِمْ كِسَفًا مِنَ السَّمَاءِ ۚ إِنَّ فِي ذَلِكَ لَآيَةً
 لِّكُلِّ عَبْدٍ مُّنِيبٍ ﴿٩﴾ ۖ وَلَقَدْ آتَيْنَا دَاوُدَ مِمَّا فَضَّلْنَا
 يَجِبَالَ أُوَيْبِي مَعَهُ وَالطَّيْرَ وَالنَّالَةَ الْحَدِيدَ ﴿١٠﴾ أَنْ أَعْمَلَ
 سَبِغَتٍ وَقَدَّرَ فِي السَّرْدِ وَأَعْمَلُوا صَاحِحًا إِنِّي بِمَا تَعْمَلُونَ
 بَصِيرٌ ﴿١١﴾ وَلَسَلِمَنَّ الرِّيحُ عُدُوها شَهْرٌ وَرَوَاحُها شَهْرٌ
 وَأَسْلَنَّا لَهُ وَعَيْنَ الظُّمْرِ وَمِنَ الْجِنِّ مَنْ يَعْمَلُ بَيْنَ يَدَيْهِ بِإِذْنِ
 رَبِّهِ ۖ وَمَنْ يَزِغْ مِنْهُمُ عَنْ أَمْرِنَا ذِقْهُ مِنْ عَذَابِ السَّعِيرِ ﴿١٢﴾
 يَعْمَلُونَ لَهُ وَمَا يُشَاءُ مِنْ مَّحْرَبٍ وَتَمَثِيلٍ وَجِفَانٍ كَالْجَوَابِ
 وَقُدُورٍ رَّاسِيَتٍ أَعْمَلُوا آلَ دَاوُدَ شُكْرًا وَقَلِيلٌ مِّنْ عِبَادِيَ
 الشُّكُورِ ﴿١٣﴾ فَلَمَّا قَضَيْنَا عَلَيْهِ الْمَوْتَ مَا دَأَّهُمْ عَلَىٰ مَوْتِهِ
 إِلَّا دَابَّةُ الْأَرْضِ تَأْكُلُ مِنسَاتِهِ ۖ فَلَمَّا أَخَّرَتْ بِتَيْبَتِ الْجِنِّ
 أَنْ لَوْ كَانُوا يَعْلَمُونَ الْغَيْبِ مَا لَبِثُوا فِي الْعَذَابِ الْمُهِينِ ﴿١٤﴾

⑧あるいは、かれはアッラーについて嘘を捏造したのか、それとも気が狂ったのかと言う。いや。来世を信じない人びとは、審判の日の苦痛と酷い迷いの中にいるのだ。

⑨かれらのはかれらの前にある天と後ろにある地を見ないのか。もしわれらが望むなら、われらは大地にかれらを呑み込ませ、または大空の一部をかれらの上に落とすだろう。真に、その中には改心してアッラーに返る、すべての僕にとっての印がある。またそのようなことができる者には、死後バラバラになった後から復活させることもできるのだ。

⑩確かに、われらはダーワードに恩恵と王国を授けてこう言った。山々よ、かれと共にアッラーを称えなさい、また鳥たちにも言った。われらはまた、いろいろの道具を作れるようにと、かれのために鉄を軟らくした。

⑪ダーワードよ、あなたは兵士を守る鎖よろいを造り、その輪に細過ぎてはずれたり、逆に大き過ぎてはめられない、適切な鋸(びょう)を打ち込みなさい。そして善行に勤しむように。実にわれはあなたがたが行うことをすべて見ているのだ。われに隠せるような行いはなく、それについて報奨を与えよう。

⑫また、スライマーンには風で、一朝に1ヵ月分を、また一夕に1ヵ月分の行路を旅させた。また、われらはかれに溶けた銅の泉を湧き出させた。また、かれの主の許しによって、あるジン(幽精)をかれの間で働かせ、かれらの中で誰でもわれらの命令に背く者には、激しい火炎の苦痛を味わわせた。

⑬ジンたちはスライマーンのために、かれが望む礼拝殿や宮殿や彫像や貯水池ほどもある洗面器、固定した大釜を製作した。アッラーは言った。あなたがたは働きなさい、ダーワードの一族よ、感謝して働きなさいと。でも、

わたしの僕の中で感謝する者はわずかであった。

⑭われらがスライマーンに死を命じたときも、ジンにその死を知らせたのは、地面の虫がかれの杖を食べることの他にはなかった。それでかれが遺体になってもたれていた杖が折れて倒れると、ジンたちは見えない世界のあることが分かった。もしかれらが見えない世界を知っていたなら、スライマーンに見られていると考えて、恥辱の苦痛(大釜製作の諸作業など)に服することもなかった。

本諸節の功德:

- 使徒になり王国を与えることで、ダーワードをアッラーは称えられた。また山々や鳥を使役されて、鉄を柔らかくされた。
- 使徒になり王国を与えることで、スライマーンをアッラーは称えられた。
- アッラーの恵みには、感謝を表すこと。
- ジンなどが見えない世界を知っていることはなく、それはアッラーだけに可能なこと。

アッラーは、ダー우드とその子スライマーンへの恩恵に言及した後、サバアの民に言及する。ダー우드とスライマーンはアッラーに感謝したが、サバアの民は恩知らずだった。

15 サバアの部族が住んでいた居住地には、かれのお力と恩恵を示す明証があり、それは2つの果樹園だった。1つは右側、もう1つは左側にあり、われらは言った。「あなたがたの主のお恵みを頂き、感謝せよ。これはよい土地であり、アッラーは赦し深い主。悔悟する者の罪をお赦しになる。」

16 だがかれらがアッラーへの感謝と使徒たちへの信仰に背を向けたので、われらは恩恵を罰に替えた。われらは激しい洪水を送り、かれらのダムを破壊し、農園を水に沈めた。そしてかれらの2つの果樹園を、苦い果実を実らせる2つの果樹園に替えたのだ。そこには実を結ばない柳の木と、少々のハマナツメもあった。

17 かれらが味わっていた恩恵の変化は、かれらの不信仰と、恩恵に対する感謝の拒否によるものだった。われらがこのような厳しい罰で罰するのは、アッラーとその恩恵を否定する者のみ。

18 われらはイエメンのサバアの民と、われらが祝福したシャーム(シリア、パレスチナ、ヨルダンなどを含む地域)の地の町々の間に、近接した町々を設けた。そしてその間の距離を、シャームの地に到達するのに苦のない間隔とした。われらはかれらに言った。「夜でも昼でも、敵や飢えや渇きから無事な状態で、そこを好きなように旅せよ。」

19 しかしかれらは、その間隔の短さというアッラーの恩恵に対し、不遜にも言った。「主よ、それらの町々を消し去り、わたしたちの旅を遠くして下さい。わたしたちが旅の疲れを味わい、わたしたちの家畜の優等さが明らかになるように。」かれらはアッラーの恩恵に対し不遜になり、感謝をせず、貧者たちに嫉妬することで、自らに不正を働いた。それでわれらはかれらを後世まで語り継がれる者たちとし、お互いの消息も尋ねられなくなるくらいにまで分散させた。サバアの民への恩恵と、かれらの不信仰と尊大さが原因となった罰についての話には、アッラーへの服従と罪への自己抑制と試練において忍耐強く、アッラーの恩恵に感謝する者にとっての教訓がある。

20 イブリースは、自分がかれらを誘惑して真理から迷わせるという考えを実現した。その望みを裏切った信仰者の一部を除いては、不信仰と迷いにおいてかれに従ったのだ。

21 イブリースにかれらを迷わせる力があつたわけではなく、ただ誘惑したのだ。われらがかれにそれを許したのは、来世とそこにおける報いを信じる者と、来世を疑う者とをわれらが知るためである。使徒よ、主は僕たちの行いを記録し、それに報いるお方。

22 使徒よ、かれら多神教徒たちに言え。「あなたがたがアッラー以外の神々と主張しているものと呼び、益をもたらしたり、害を除去したりさせてみよ。それらは天地において塵一つ有してはいない。それらはそこでアッラーと何も共有もせず、アッラーにはいかなる援助者もない。」かれは、いかなる共同者や援助者からも無縁である。

本諸節の功德:

- 感謝は恩恵を留め置き、忘恩はその消失を呼ぶ。
- 安全は、僕に対するアッラーの恩恵でも最大のもの。
- 正しい信仰はアッラーのお許しと共に、シャイターンの誘惑から守ってくれる。
- 偶像に主権、アッラーとの共同、アッラーへの援助や執り成しがあるという主張を始めとする多神教的諸事の原因の否定。

لَقَدْ كَانَ لِسَبَإٍ فِي مَسْكِهُمْ آيَةٌ جَنَّتَانِ عَنْ يَمِينٍ وَشِمَالٍ
كُلُوا مِنْ رِزْقِ رَبِّكُمْ وَاشْكُرُوا لَهُ، بَلَدَةٌ طَيِّبَةٌ وَرَبُّ غَفُورٌ
فَاعْرَضُوا فَاذْسَلْنَا عَلَيْهِمْ سَبِيلَ الْعَرَمِ وَبَدَّلْنَاهُمْ بِجَنَّتَيْهِمْ
جَنَّتَيْنِ ذَوَاتِي أُكُلِ خَمْطٍ وَأَثَلٍ وَشَيْءٍ مِّن سِدْرٍ قَلِيلٍ
ذَلِكَ جَزَاءُ بَنِيهِمْ بِمَا كَفَرُوا وَهَلْ يُجْزَىٰ إِلَّا الْكُفُورَ
وَجَعَلْنَا بَيْنَهُمْ وَبَيْنَ الْقُرَىٰ الَّتِي بَرَكْنَا فِيهَا قُرَىٰ ظَاهِرَةً
وَقَدَّرْنَا فِيهَا السَّبْرَ سَبْرًا سِيرُوا فِيهَا لِيَأْتِيُوا وَيَأْتِيَاءُ آمِنِينَ
فَقَالُوا رَبَّنَا بَاعِدْ بَيْنَ أَسْفَارِنَا وَظَلَمُوا أَنْفُسَهُمْ فَجَعَلْنَاهُمْ
أَحَادِيثَ وَمَزَّقْنَاهُمْ كُلَّ مُمَزَّقٍ إِنَّ فِي ذَلِكَ لَآيَاتٍ لِّكُلِّ صَبَّارٍ
شَكُورٍ وَقَدْ صَدَّقَ عَلَيْهِمْ إِبْلِيسُ ظَنَّهُ فَاتَّبَعُوهُ إِلَّا
فِرْيَاقًا مِّنَ الْمُؤْمِنِينَ وَمَا كَانَ لَهُ عَلَيْهِمْ مِّن سُلْطَانٍ
إِلَّا لِنَعْلَمَ مَنْ يُّؤْمِنُ بِآلِ الْآخِرَةِ مِمَّنْ هُوَ مِنهَا فِي شَكٍّ
وَرَبُّكَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ حَفِيظٌ قُلِ ادْعُوا الَّذِينَ زَعَمْتُمْ
دُونِ اللَّهِ لَا يَمْلِكُونَ مِثْقَالَ ذَرَّةٍ فِي السَّمَوَاتِ وَلَا فِي
الْأَرْضِ وَمَا لَهُمْ فِيهِمَا مِن شِرْكٍَ وَمَا لَهُمْ مِنْهُم مِّن ظَهِيرٍ

وَلَا تَنْفَعُ الشَّفَعَةُ عِنْدَهُ إِلَّا لِمَنْ أَذِنَ لَهُ وَحَتَّىٰ إِذَا فُزِعَ عَن
 فَلُوِيهِمْ قَالُوا مَاذَا قَالَ رَبُّكُمْ قَالُوا الْحَقُّ وَهُوَ الْعَلِيُّ الْكَبِيرُ
 ﴿٣٢﴾ قُلْ مَنْ يَرْزُقُكُمْ مِّنَ السَّمٰوٰتِ وَالْأَرْضِ قُلِ اللّٰهُ
 وَإِنَّا أَنۢأَوِيۢكُمْ لَعَلَىٰ هُدًىٰ أَوْ فِي ضَلٰلٍ مُّبِينٍ ﴿٣٣﴾ قُلْ
 لَآ تُسۡتَعۡوَنَ عَمَّا أَجْرَمۡتَا وَلَا تُسۡتَعۡلَمٰنِ عَمَّا تَعْمَلُونَ ﴿٣٤﴾ قُلْ
 يَجْمَعُ بَيْنَنَا رَبَّنَا ثُمَّ يَفۡتَحُ بَيْنَنَا بِالْحَقِّ وَهُوَ الْفَتَاحُ الْعَلِيمُ
 ﴿٣٥﴾ قُلْ أَرۡوِيۢمُ الَّذِينَ أَحۡقَقۡتُم بِهِ شُرَكَآءَ كَلَّا بَلْ هُوَ اللّٰهُ
 الْعَزِيزُ الْحَكِيمُ ﴿٣٦﴾ وَمَا أَرْسَلۡنَاكَ إِلَّا كَافَّةً لِّلنَّاسِ
 بَشِيرًا وَنَذِيرًا وَلَٰكِنَّ أَكۡثَرَ النَّاسِ لَا يَعۡلَمُونَ ﴿٣٧﴾
 وَيَقُولُونَ مَتَىٰ هٰذَا الْوَعۡدُ إِن كُنۡتُمۡ صٰدِقِينَ ﴿٣٨﴾
 قُلْ لَّكُمْ مِيعَادُ يَومٍ لَّا تَسۡتَشۡخِرُونَ عَنۡهُ سَاعَةً وَلَا تَسۡتَقۡدِمُونَ
 ﴿٣٩﴾ وَقَالَ الَّذِينَ كَفَرُوا لَن نُّؤۡمِنَ بِهٰذَا الْقُرْءَانِ وَلَا
 بِالَّذِي بَيْنَ يَدَيْهِ وَلَوۡ تَرٰوۡا۟ إِذِ الظَّٰلِمُونَ مَوۡفُوقُونَ عِنۡدَ
 رَبِّهِمۡ يَرۡجِعُ بَعْضُهُمۡ إِلَىٰ بَعْضٍ الْقَوْلَ يَقُولُ الَّذِينَ
 اسۡتَضَعُوا لِلَّذِينَ اسۡتَكۡبَرُوا لَوۡلَا أَنۡتُمۡ لَكُنَّا مُؤۡمِنِينَ ﴿٤٠﴾

32)かれのもとでの執り成しは、その許可を与えられた者しか役に立たない。執り成しは偉大であり、アッラーはかれが満足した者にしかそれを許可しない。かれが天で語れば、天使たちはその言葉に服従し、羽を鳴らせる。するとかれらの恐怖は取り除かれ、かれらはジブリールに言う。「主は何を語ったのか？」ジブリールは言う。「真理を語った。」かれはその本質と支配において至高で、いかなるものより大きいお方。

34)使徒よ、多神教徒たちに言え。「天からは雨、地からは果実や農産物でお恵みになるのは誰か？」言え。「それはアッラーである。間違いなく、私とあなたがたのいずれかが正道にあり、いずれかが明らかな迷いにあるのだ。」そして信仰者こそが導かれた民であり、多神教徒たちが迷いの民なのである。

35)使徒よ、かれらに言え。「審判の日、あなたがたがわたしたちの罪について尋ねられることもないし、わたしたちがあなたがたの行いについて尋ねられることもない。」

36)かれらに言え。「アッラーは審判の日、わたしたちとあなたがたを召集し、正義でもって裁く。正しい者と間違った者が明らかになる。かれは正義で裁く英知あふれたお方であり、裁きにおいて全知のお方。」

37)使徒よ、かれらに言え。「あなたがたが崇拜においてアッラーに並べている共同者たちを、わたしに見せよ。いや、あなたがたが思っているように、かれに共同者などはいない。」かれは誰にも制圧されない偉大なお方であり、創造と定めと采配において英知あふれるお方。

39)使徒よ、われらはあなたを全人類に向けて遣わした。敬虔な者たちには天国の吉報を、不信仰と放埒さの民には地獄の警告を伝える。しかし多くの者はそれを知らない。もし知っていたら、あなたを嘘よばわりしなかった

だろう。
 29)多神教徒たちは自分たちが恐れている罰へと急ぎ、言う。「罰の時はいつなのか？あなたがたがその主張において正直ならば。」

30)使徒よ、罰へと急ぐ者たちに言え。「あなたがたには決められた約束の時がある。一刻たりとも遅れることも、早まることもない。それが審判の日である。」

31)アッラーを否定する者たちは言う。「わたしたちは、ムハンマドが自分に下されたと主張するこのクルアーンも、それ以前の啓典も信じない。」使徒よ、審判の日に不正者たちが主のもとで清算のために勾留されるのを、もしあなたが目にするのなら。かれらは互いに言葉を交わし、責任や非難をなすりつけ合う。現世において無力だった追従者たちは、自分たちを抑圧していた高慢な支配者たちに、言う。「あなたがたがわたしたちを迷わせていなければ、わたしたちはアッラーと使徒たちを信じていたのに。」

本諸節の功德:

- 布教する対象が意地っ張りにならないよう、優しくすること。
- 導かれた者は導きによって高められ、迷妄の徒は迷いに沈み、蔑まれる。
- 預言者のメッセージは全人類とゾンに向けられたもの。

③② 真理に対して高慢な支配者たちは、自分たちが抑圧していた追従者たちに言う。「わたしたちが、ムハンマドがもたらした導きからあなたがたを阻んだと?いや、あなたがたこそは不正者で、腐敗をもたらす者たちだったのだ。」

③③ 追従者たちは、自分たちを抑圧していた、真理に対して高慢な支配者たちに言う。「あなたがたの昼夜の画策が、わたしたちを導きから阻んだのだ。あなたがたはわたしたちに、アッラーの否定と、被造物の崇拜を命じていた。」かれらは罰を目にし、自分たちが罰されることを知ると、現世での不信仰な状態に対する後悔の念を見られないようにする。**われら**は不信仰者たちの首に枷をかけるが、この報いはかれらが現世で行っていた、アッラー以外のものに対する崇拜と稼いだ罪によるものなのだ。

民によって嘘よばわりされた使徒への慰めとして、アッラーは、嘘よばわりが過去の民の常であるということを読み出させ、こう言う:

③④ **われら**が町に使徒を遣わし、アッラーの罰を警告させれば、権力と地位と財産を持った富裕者たちは決まって、こう言った。「使徒たちよ、わたしたちは、あなたがたがもたらしたものを否認する。」

③⑤ かれら高慢な権力者たちは、言うのである。「わたしたちはあなたがたより、多くの財産と子供がある。わたしたちが罰されるというのは嘘だ。わたしたちは現世でも来世でも罰されることなどない。」

③⑥ 使徒よ、授かった恩恵に思い上がっているかれらに、言え。「わが主はお望みの者の糧を豊かにし、感謝するか恩知らずになるかお試しになる。またお望みの者の糧を乏しくし、忍耐するか嫌悪するかお試しになる。だが多くの者はアッラーが英知あるお方であることを知らない。」**かれ**の定めには偉大な英知があり、知る者はそれを知るが、無知な者には分からないのだ。

③⑦ あなたがたが自慢にしている子供や財産が、アッラーのお喜びへと導くのではない。だがアッラーを信仰し善行を行った者が、倍增された褒美を得るのだ。かれらは財産をアッラーの道に費やし、その子供たちから祈られることにより、お近づきを得る。かれら善行を行う信仰者たちには、その善行のために倍增された褒美がある。かれらは罰や死や安寧からの断絶といった恐怖から無事な状態で、天国の高きにあるのだ。

③⑧ 不信仰者たちは人々を**われら**の印から逸らし、目的を実現させるために尽力する。かれらは現世では損失者で、来世では罰されることになる。

③⑨ 使徒よ、言え。「わが主はお望みの僕の糧を豊かにし、お望みの者には乏しくされる。アッラーの道において費やせば、**かれ**は現世においてはよりよいものを授け、来世においては豊かな褒美を与えてくれる。アッラーは糧を受ける最良のお方。糧を求めるなら、それを**かれ**にこそ求めよ。」

本諸節の功德:

- 追従者と支配者どうしが互いに責任をなすり付け合っても、いずれも責任逃れは出来ない。
- 贅沢は真理の受容を遠ざける。
- 財産と子供は信仰者を益しはしても、不信仰者の役には立たない。
- アッラーの道における財の抛出は、現世では更なる財産の獲得に、来世ではよき褒美につながる。

قَالَ الَّذِينَ اسْتَكْبَرُوا لِلَّذِينَ اسْتَضِعُوا انْحُنُّ صَدَدْنَا عَنْ
 الْهَدَىٰ بَعْدَ اِذْ جَاءَ كُرْبًا ۗ كُنْتُمْ مُجْرِمِينَ ﴿٣٢﴾ وَقَالَ الَّذِينَ
 اسْتَضِعُوا لِلَّذِينَ اسْتَكْبَرُوا بَلْ مَكْرُ الْاَيْلِ وَالنَّهَارِ اِذْ
 تَأْمُرُونَنَا اَنْ نَّكْفُرَ بِاللّٰهِ وَنَجْعَلَ لَهُ اَنْدَادًا ۗ وَاَسْرُوْا النَّدَامَةَ
 لَمَّا رَاوْا الْعَذَابَ وَجَعَلْنَا الْاَعْلٰلَ فِيْ اَعْنَاقِ الَّذِينَ كَفَرُوْا
 هَلْ يُجْزَوْنَ اِلَّا مَا كَانُوْا يَعْمَلُوْنَ ﴿٣٣﴾ وَمَا اَرْسَلْنَا فِيْ قَرْيَةٍ
 مِّنْ نَّذِيْرٍ اِلَّا قَالِ مُتْرَفُوْهَا اِنَّا بِمَا اُرْسِلْتُمْ بِهِ كٰفِرُوْنَ ﴿٣٤﴾
 وَقَالُوْا انْحُنُّ اَكْثَرُ اَمْوَالًا وَّاَوْلَادًا وَمَا نَحْنُ بِمُعَذَّبِيْنَ ﴿٣٥﴾
 قُلْ اِنَّ رَبِّيْ يَبْسُطُ الرِّزْقَ لِمَنْ يَّشَاءُ وَيَقْدِرُ وَلٰكِنْ اَكْثَرُ
 النَّاسِ لَا يَعْلَمُوْنَ ﴿٣٦﴾ وَمَا اَمْوَالُكُمْ وَّلَا اَوْلَادُكُمْ بِالَّتِي تُفْرِكُكُمْ
 عِنْدَنَا لَفِيْ الْاَمْنِ ؕ اَمِنْ وَّعَمِلْ صٰلِحًا فَاُولٰٓئِكَ لَهُمْ جَزَاؤُهُ
 الَّذِيْ لَمْ يَصْعَفْ يَمَّا عَمِلُوْا وَهُمْ فِي الْغُرَفٰتِ ؕ اٰمِنُوْنَ ﴿٣٧﴾ وَالَّذِيْنَ
 يَسْعَوْنَ فِيْ ؕ اٰيٰتِنَا مُعٰجِزِيْنَ اُولٰٓئِكَ فِي الْعَذَابِ مُحْضَرُوْنَ ﴿٣٨﴾
 قُلْ اِنَّ رَبِّيْ يَبْسُطُ الرِّزْقَ لِمَنْ يَّشَاءُ مِنْ عِبَادِهٖ وَيَقْدِرُ لَهُ
 وَمَا اَنْفَقْتُمْ مِنْ شَيْءٍ فَهُوَ يُخْلِفُهٗ ۗ وَهُوَ خَيْرُ الرَّٰزِقِيْنَ ﴿٣٩﴾

وَيَوْمَ يُنْفَخُ عَنْهُمْ حَيْبَاتُهُمْ يَفْقَهُونَ لِمَلَكِكَةِ آهْوَلَاءِ إِنْسَانِكُمْ كَانُوا
 يَعْبُدُونَ ﴿٤٣﴾ قَالُوا سُبْحَانَكَ أَنْتَ وَلِيِّنَا مِنْ دُونِهِمْ بَلْ كَانُوا
 يَعْبُدُونَ الْجِنَّ أَكْثَرَهُمْ بِهِمْ مُؤْمِنُونَ ﴿٤٤﴾ فَأَلْيَوْمَ لَا يَمْلِكُ
 بَعْضُكُمْ لِبَعْضٍ نَفْعًا وَلَا ضَرًّا وَنَقُولُ لِلَّذِينَ ظَلَمُوا ذُوقُوا عَذَابَ
 النَّارِ الَّتِي كُنْتُمْ بِهَا تَكْفُرُونَ ﴿٤٥﴾ وَإِذَا نَسِيتُ عَلَيْهِنَّ آيَاتِنَا بِئْسَتْ
 قَالُوا مَا هَذَا إِلَّا رَجُلٌ يُرِيدُ أَنْ يَصُدَّكُمْ عَنْ مَا كَانُوا يَعْبُدُ آبَاءَكُمْ
 وَقَالُوا مَا هَذَا إِلَّا آفَاكٌ مُفْتَرَىٰ وَقَالَ الَّذِينَ كَفَرُوا لِلْحَقِّ لَمَّا
 جَاءَهُمْ إِنَّ هَذَا إِلَّا أَلْهَابٌ سِحْرٌ مُؤْتَمِنٌ ﴿٤٦﴾ وَمَاءَ آتَيْنَهُمْ مِنْ كُتُبٍ
 يَدْرُسُونَهَا وَمَا أَرْسَلْنَا إِلَيْهِمْ قَبْلَكَ مِنْ نَذِيرٍ ﴿٤٧﴾ وَكَذَّبَ
 الَّذِينَ مِنْ قَبْلِهِمْ وَمَا بَلَّغُوا مَعْشَارَ مَا آتَيْنَهُمْ فَكَذَّبُوا
 رُسُلِي فَكَيْفَ كَانَ نَكِيرِ ﴿٤٨﴾ * قُلْ إِنَّمَا أَعِظُكُمْ بِوَحْدَةِ اللَّهِ أَنْ
 تَقُومُوا لِلَّهِ مثنًى وَفَرْدًى ثُمَّ تَتَفَكَّرُوا مَا بِصَاحِبِكُمْ مِنْ
 حِزْبٍ إِنْ هُوَ إِلَّا نَذِيرٌ لَكُمْ بَيْنَ يَدَيْ عَذَابٍ شَدِيدٍ ﴿٤٩﴾ قُلْ
 مَا سَأَلْتُكُمْ مِنْ أَجْرٍ فَهُوَ لَكُمْ إِنْ أَجْرِي إِلَّا عَلَى اللَّهِ وَهُوَ عَلَى
 كُلِّ شَيْءٍ شَهِيدٌ ﴿٥٠﴾ قُلْ إِنَّ رَبِّي يَمْدُدُ بِالْحَقِّ عَلَّمَ الْغُيُوبِ ﴿٥١﴾

الجزء
22

わりし、かれらの財産や力や人数は何の役にも立たないまま、わが罰は下った。使徒よ、見るがよい。かれらに対するわが否認と罰はいかなるものだったか？

④③ 使徒よ、アッラーがかれら全員を召集する日を思い出させよ。**かれ**は多神教徒たちに対する非難として、天使たちにこう言う。「かれらは現世の生活で、アッラーを差しおいてあなたがたを崇拜していたのか？」

④④ 天使たちは言う。「あなたは崇高なお方。かれらと関係なしに、あなたはわたしたちの擁護者です。わたしたちとかれらの間には何の特別な関係もなく、かれら多神教徒たちは天使の振りをしたシャイターンを、アッラーをよそに崇拜していたのです。かれらの多くは、かれら(シャイターン)を信じていました。」

④⑤ 召集と清算の日、現世でアッラーをよそに崇拜されていたものが、その崇拜者を益したり害したりすることはない。**われら**は不信仰と罪によって自らに不正を働いていた者たちに、言う。「あなたがたが現世で嘘としていた地獄の業火を、味わえ。」

④⑥ かれら多神教徒たちに、**われら**の使徒に下された疑念の余地のない明らかな印が読誦されれば、かれらは言う。「これをもたらした者は、あなたがたをあなたがたの祖先のやり方から変えることを望む1人の男に過ぎない。」かれらは言う。「このクルアーンはアッラーに対して捏造された嘘だ。」アッラーを否定する者たちは、クルアーンがかれらにもたらされた時、言った。「これは夫婦や親子の間を分け隔てる、明らかな魔術に他ならない。」

④⑦ **われら**はかれらに、クルアーンがムハンマドの捏造した嘘であることを示す啓典を与えたわけではない。また使徒よ、かれらに対しアッラーの罰について警告するいかなる使徒も、**われら**はあなた以前に遣わさなかった。

④⑧ アード、サムード、ルートの民といった過去の民も嘘よばわりした。そしてあなたの民の多神教徒たちは、力や城砦や財産や人数において、かれらの10分の1にも達していないのである。かれらは皆自分たちの使徒を嘘よば

④⑥ 使徒よ、かれら多神教徒たちに言え。「わたしは1つのことをあなたがたに忠告する。アッラーのために私欲を振り払って2人ずつ、または1人ずつ立ち上がり、あなたがたの仲間(ムハンマド)の所業について、あなたがたがかれについて知っている知性、正直さ、信頼性について熟考してみよ。そうすればかれが狂人ではないことが分かる。あなたがたが多神教からアッラーに悔悟しないなら、かれはあなたがたに対する厳しい罰の前の警告者なのである。」

④⑦ 使徒よ、かれら多神教徒たちに言え。「あなたがたがわたしに尋ねている、わたしがあなたがたにもたらした導きと善に対する褒美は、あなたがたへのものである。わたしの褒美はアッラーによるもののみ。アッラーは全ての証人であり、わたしがあなたがたに伝達したことの証人である。またあなたがたの行いに対する証人でもあり、それに報いを与えられる。」

アッラーは虚妄と多神教の民に対する論拠を示した後、それが**かれ**の習いであることを説明して、言う。

④⑧ 使徒よ、言え。「わが主は真理を虚妄に投げつけ、消滅させる。**かれ**は不可視の事象を熟知されるお方で、天地において**かれ**から隠れられるものはなく、僕の行為もまた同様である。」

本諸節の功德:

- 先祖への盲従は導きを妨げる。
- 私欲を捨てて熟考することは、正しい決定と思考の手段である。
- アッラーへと招く者は人々からではなく、人々の主からの褒美を期待する。

قُلْ جَاءَ الْحَقُّ وَمَا يُبَدِّئُ الْبَاطِلُ وَمَا يُعِيدُ ٤٩ قُلْ إِنْ ضَلَّكَ
فَاتِمَّا أَضِلُّ عَلَى نَفْسِي وَإِنْ أَهْتَدَيْتُ فِيمَا يُوحَىٰ إِلَيَّ رَبِّي إِنَّهُ
سَمِيعٌ قَرِيبٌ ٥٠ وَرَوْحِي تَزَيَّرُ إِذْ فَنَعُوا فَلَا قُوَّةَ وَأُخْذُوا مِنْ
مَكَانٍ قَرِيبٍ ٥١ وَقَالُوا أَمَّا بِنَاهُ وَأَيُّ لَهُمُ التَّنَاوُسُ مِنْ
مَكَانٍ بَعِيدٍ ٥٢ وَقَدْ كَفَرُوا بِهِ مِنْ قَبْلُ وَيَقْدِرُونَ
بِالْغَيْبِ مِنْ مَكَانٍ بَعِيدٍ ٥٣ وَجِئِلَ بَيْنَهُمْ وَبَيْنَ مَا يَشْتَهُونَ
كَمَا فَعَلَ بِأَشْيَاءِهِمْ مِنْ قَبْلُ إِنَّهُمْ كَانُوا فِي شَكٍّ مُرِيبٍ ٥٤

سُورَةُ فَاطِرٍ

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

الْحَمْدُ لِلَّهِ فَاطِرِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ جَاعِلِ الْمَلَكِيَّةِ رُسُلًا أُولِي
أَجْنِحَةٍ مَثْنَىٰ وَثُلَاثَ وَرُبْعَ يَزِيدُ فِي الْخَلْقِ مَا يَشَاءُ إِنَّ اللَّهَ عَلَىٰ
كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ١ مَا يَفْتَحُ اللَّهُ لِلنَّاسِ مِنْ رَحْمَةٍ فَلَا مُمْسِكَ لَهَا
وَمَا يُمْسِكُ فَلَا مُرْسِلَ لَهُ مِنْ بَعْدِهِ وَهُوَ الْعَزِيزُ الْحَكِيمُ ٢
يَأْتِيهَا النَّاسُ أَذْكَرَ وَأَنْعَمَتَ اللَّهُ عَلَيْكُمْ هَلْ مِنْ خَلْقٍ غَيْرِ اللَّهِ
يَرْزُقُكُمْ مِنَ السَّمَاءِ وَالْأَرْضِ لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ فَإِنَّ تَوْفِيقُونَ ٣

49 使徒よ、かれら多神教徒たちに言え。「真理、つまりイスラームは到来した。虚妄は去り、そのいかなる痕跡も力も残ってはならず、息を吹き返すこともない。」

50 使徒よ、かれら多神教徒たちに言え。「もしわたしが、あなたがたに伝達することにおいて真理から迷うならば、それによる害はわたしのみであり、あなたがたには何もない。もしわたしがそこ(真理)に導かれたならば、それはわが主の啓示によるもの。かれは僕たちの言葉を聞き、わたしの言葉を聞いて下さるお近いお方。」

51 使徒よ、もしあなたが、審判の日にかれら多神教徒たちが罰を目にし、恐れおののくを見るならば。かれらには逃げ場も避難所もなく、近い場所から真っ先に、いとも容易く捕らえられるのだ。その様子を見たら、あなたは驚くだろう。

52 かれらは自分たちの行き先を見て、言う。「わたしたちは審判の日を信じた。」しかし信仰を受け入れられる場所から遠く離れてしまったかれらが、どうして信仰を得ることが出来ようか?かれらは行いの場であって報いの場ではない現世から、報いの場であり行いの場ではない来世へと出てしまったのだ。

53 どうしてかれらの信仰が受け入れられようか?かれらは現世でそれを否定し、真理から程遠い、遠い場所から疑惑を投げかけていたのだ。かれらは使徒を、魔術師、占い師、詩人などと言っていた。

54 かれら嘘よばわりする者たちは、かれらが望む生活の享楽からも、不信仰に対する悔悟からも、地獄からの救いからも、現世の生活への帰還からも阻まれたが、それはちょうど過去の同様の民と同じ状態なのである。かれらは使徒たちがもたらした、アッラーの唯一性と復活に関し、不信仰へと至る疑念を抱いていたのである。

35. 創造者章(ファール)

マッカ啓示

本章の趣旨:

僕は全くアッラーの天地創造の御力に及ばず、主は僕を必要とされないこと。

説明:

1 前例のない形で天地を創造されたアッラーに讃えあれ。かれは天使たちをその命令を遂行する使いとしたが、その中には預言者たちに啓示を伝え、かれらをその伝達において支える者もいれば、その命令の遂行のために飛行する羽が2枚ある者、3枚ある者、4枚ある者もある。アッラーはお望みの者の器官、美、声などを増大させる。アッラーは全能のお方で、不可能なことはない。

2 全ての物事の鍵はアッラーの御手にある。かれが人々に与える糧、導き、幸福などの恵みを阻むことは誰にも出来ず、かれがそれらを阻めば誰も与えることは出来ない。かれは誰にも制圧されない偉大なお方であり、創造と定めと采配において英知あふれるお方。

3 人々よ、あなたがたに対するアッラーの恩恵を心と舌で、そして身体による行動によって、思い起こせ。天からは雨を降らし、地からは果実や農産物を生育させることで糧を授けてくれる、アッラー以外の創造主があなたがたにいるのか?かれ以外に真に崇拜すべきものはない。どうしてこの真理から逸れ、アッラーに共同者がいるなどと嘘をつくのか?かれこそがあなたがたを創造し、糧を与えてくれたのに。

本諸節の功德:

- 審判の日における不信仰者たちの恐怖の様子は、ただごとではない光景である。
- 信仰の受け入れが役に立つのは、行いの場である現世のみである。
- 天使たちの創造の偉大さは、その創造主の偉大さを示している。

وَأَنْ يَكْذِبُونَكَ فَقَدْ كَذَّبَتْ رَسُولٌ مِّن قَبْلِكَ وَإِلَى اللَّهِ تُرْجَع الْأُمُورُ ﴿٤٣٥﴾
 يَا أَيُّهَا النَّاسُ إِنَّ وَعْدَ اللَّهِ حَقٌّ فَلَا تَغُرَّنَّكُمُ الْحَيَاةُ الدُّنْيَا
 وَلَا يَغُرَّنَّكُم بِاللَّهِ الْعُرُودُ ﴿٤٣٦﴾ إِنَّ الشَّيْطَانَ لَكُمْ عَدُوٌّ فَاتَّخِذُوهُ
 عَدُوًّا إِنَّمَا يَدْعُوا حِزْبَهُ لِيَكُونُوا مِنْ أَصْحَابِ السَّعِيرِ ﴿٤٣٧﴾ الَّذِينَ
 كَفَرُوا لَهُمْ عَذَابٌ شَدِيدٌ وَالَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ لَهُمْ
 مَغْفِرَةٌ وَأَجْرٌ كَبِيرٌ ﴿٤٣٨﴾ أَقْمِنَ لِنَاسٍ لَّهُ سُمْؤٌ عَمَلِهِمْ فَرَءَاهُمْ حَسَنَاتٍ فِإِنَّ
 اللَّهَ يُضِلُّ مَن يَشَاءُ وَيَهْدِي مَن يَشَاءُ فَلَا تَذْهَبُ نَفْسُكَ عَلَيْهِمْ
 حَسْرَتٌ إِنَّ اللَّهَ عَلِيمٌ بِمَا يَصْنَعُونَ ﴿٤٣٩﴾ وَاللَّهُ الَّذِي أَرْسَلَ
 الرِّيحَ فَتُثِيرُ سَحَابًا فَمُسْقِنَةٌ إِلَىٰ بَلَدٍ مَّيِّتٍ فَأَحْيَيْنَاهُ الْأَرْضَ
 بَعْدَ مَوْتِهَا أَكْذَلِكِ النَّشُورُ ﴿٤٤٠﴾ مَن كَانَ يُرِيدِ الْعِزَّةَ فَلِلَّهِ الْعِزَّةُ جَمِيعًا
 إِلَيْهِ يَصْعَدُ الْكَلِمُ الطَّيِّبُ وَالْعَمَلُ الصَّالِحُ يَرْفَعُهُ وَالَّذِينَ
 يَمْكُرُونَ السَّيِّئَاتِ لَهُمْ عَذَابٌ شَدِيدٌ وَمَكْرُ أُولَئِكَ هُوَ يَبُورُ ﴿٤٤١﴾
 وَاللَّهُ خَلَقَكُمْ مِنْ تُرَابٍ ثُمَّ مَن نُّظْفَةً ثُمَّ جَعَلَكُمْ أَزْوَاجًا
 وَمَا تَحْمِلُ مِنْ أُنْثَىٰ وَلَا تَضَعُ إِلَّا يَعْلَمُهُمْ وَمَا يَعْمَرُ مِنْ مُّعَمَّرٍ
 وَلَا يَقْضُ مِنْ عُمْرِهِ إِلَّا فِي كِتَابٍ إِنَّ ذَلِكَ عَلَى اللَّهِ يَسِيرٌ ﴿٤٤٢﴾

④使徒よ、もしあなたの民があなたを嘘よばわりしても、忍耐せよ。民によって嘘よばわりされた使徒は、あなたが初めてではない。アード、サムード、ルートの民といった過去の民も、その使徒たちを嘘よばわりしたのだ。全ての物事はアッラーへと帰り行く。かれは嘘よばわりした者たちを滅ぼし、使徒と信仰者たちを援助するのだ。

⑤人々よ、復活、報い、審判の日といったアッラーの約束は、疑念の余地のない真実である。だから現世の生活の享楽や欲望にかまけて、善行によるこの日への準備を怠ってはいけない。また、シャイターンによる虚妄の美化や、現世の生活への傾倒に騙されてはならない。

⑥人々よ、シャイターンはあなたがたに対する恒久的な敵なのだから、かれを敵として戦い続けよ。シャイターンはその追従者たちをアッラーの否定へと招くが、それは審判の日にかれらを燃え盛る地獄に入れるためなのだ。

⑦シャイターンに従ってアッラーを否定する者たちには、強烈な罰がある。アッラーを信じ善行をする者たちには、アッラーからの罪に対するお赦しと、天国という偉大な褒美がある。

⑧シャイターンによって悪行を美化され、それを美しいと信じた者は、アッラーによって真理を美化され、それを真理と信じた者とは違う。アッラーはお望みの者を迷わせ、お望みの者を導かれるのであり、何の押し付けもされない。だから使徒よ、迷った者たちの迷妄を見て、悲しみで身を滅ぼすのではない。アッラーはかれらの行いをご存知であり、かれらの行いはかれに筒抜けなのである。

⑨アッラーは風を送り、それで雲を動かして植物の生えない土地へと送り、その雨水によって植物を芽生えさせ、乾いた土地を生き返すお方。一度は死んだ土地を植物を芽生えさせ、生き返すのと同様、審判の日に死者は復活するのである。

⑩現世でも来世でも権勢を求める者は、アッラー以外の者にそれを求めるのではない。そこにおける権勢はアッラーのみに属するからである。かれを念じるよい唱念はかれのもとへと昇って行くのであり、かれは僕たちの善行をご自身のもとへと上げる。そして使徒の殺害などの悪巧みをする者たちには、厳しい罰がある。かれら不信仰者たちの画策は消滅するのであり、その目的を実現することはない。

⑪アッラーはあなたがたの先祖アーダムを土から創造し、それからあなたがたを精液から創り、そしてあなたがたを互いに結婚し合う男女としたお方。いかなる女性もかれの知識なくして胎児を宿したり、出産したりすることはない。また、守護された碑板に既に定められていることなくして、被造物の年齢が増減することもない。あなたがたの土からの創造、段階的な創造、守護された碑板におけるあなたがたの寿命の定め、それらのことはアッラーにとって容易いことなのだ。

本諸節の功德:

- 過去の使徒たちとその民との話による、使徒ムハンマドへの慰め。
- 現世にかまけることは、真理を拒否することの原因である。
- シャイターンを敵とするということは、かれに対する自己防衛の原因(アッラーの唱念、クルアーン読誦、服従行為、罪の放棄など)を実践することである。
- アッラーの至高性という属性の確証。

⑫2つの海は同様ではない。一方は美味で喉越しがよく、もう一方は塩辛さのため飲用不可能である。そしてそのいずれからか、あなたがたは軟らかい魚の肉を食べ、装飾品として身につける真珠や珊瑚を採集する。また、あなたは船が波を切って前後に進み、商売によってアッラーの恵みを求めるのを見る。あなたがたは、アッラーがあなたがたに授けた多くの恩恵に感謝するであろう。

⑬アッラーは夜を昼に入れてそれを長くし、昼を夜に入れてそれを長くする。また太陽と月を運行させるが、そのいずれもアッラーがご存知の期限である審判の日へと向かっている。それら全てを定め、運行させているお方こそアッラー。かれのみに王権は属する。かれをよそにあなたがたが崇拜している偶像は、ナツメヤシの実の薄皮程度のもも所有していない。それなのに、あなたがたはそれらを崇拜するののか？

⑭あなたがたが、あなたがたの崇拜対象に祈っても、それらはあなたがたの祈りを聞かない。それらは物質であり、聴覚などないのだ。そしてたとえ聞いたとしても、あなたがたに応じはしない。あなたがたがかれらを共同者とし、かれらを崇拜していたことを、かれらは審判の日、無関係とするのである。使徒よ、誰もあなたに対し、アッラーより正しい言葉を話す者はない。

⑮人々よ、あなたがたは何に関しても、どのような状況であっても、アッラーを必要とする。しかしアッラーは十全で、あなたがたを一切必要とはしない。現世と来世において僕たちに定めることにおいて、讃えられるべきお方なのだ。

⑯かれがあなたがたの破滅をお望みになれば、破滅させられ、あなたがたの代わりに何も並べることなく、ご自身だけを崇拜する新たな者たちを出現させられる。

⑰あなたがたの破滅と、あなたがたの代わりとなる新たな民を出現させることなど、アッラーにとって不可能なことではない。

⑱罪を背負う者が、罪を背負う他の者の罪を負わされることはない。各人は自分の罪だけを背負うのだ。重い罪を背負う者が、自分の罪を背負ってくれるよう他の者に呼びかけても、僅かたりとも背負ってはもらえない。たとえその者が近親であったとしても、である。使徒よ、あなたは目に見えない主を恐れ、礼拝を完全な形で遂行する者たちにこそ、アッラーの罰を警告する。かれらこそが、あなたの警告が役立つ者たち。そして罪、その最大のものが多神教であるが、それらから身を清める者こそが、自らを清めるのだ。その利益は自分自身のものとなるのであり、アッラーは自分が服従されることで得などしないのだから。審判の日、清算と報いのための帰り所は、アッラーなのである。

本諸節の功德:

- 海を仕えさせ、昼夜を交替させ、太陽と月を仕えさせたことは、人々に対するアッラーの恩恵である。しかし人々はこの恩恵に慣れきってしまい、おろそかにしている。
- 聴覚も理性もない偶像に祈ることの愚かさ。
- アッラーを必要とする状態は人類に必須の性質であり、完全性はアッラーに属する。
- 自分自身の浄化は、自分自身のためのもの。自らを守るのも、喪失するのも、自分次第である。

وَمَا يَسْتَوِي الْبَحْرَانِ هَذَا عَذْبٌ فُرَاتٌ سَائِغٌ شْرَابُهُ وَهَذَا
مِلْحٌ أُجَاجٌ وَمِنْ كُلِّ تَأْكُلُونَ لِحَمَاطٍ يَا وَيْلَتَى خَرَجُونَ
حِلْيَةً تَلْبَسُونَهَا وَتَرَى الْفُلْكَ فِيهِ مَوَازِرَ لَتَبْتَغُوا مِنْ فَضْلِهِ
وَلَعَلَّكُمْ تَشْكُرُونَ ﴿١٢﴾ يُولِجُ اللَّيْلَ فِي النَّهَارِ وَيُولِجُ
النَّهَارَ فِي اللَّيْلِ وَسَخَّرَ الشَّمْسَ وَالْقَمَرَ كُلٌّ يَجْرِي
لِأَجَلٍ مُسَمًّى ذَلِكَ اللَّهُ رَبُّكُمْ لَهُ الْمُلْكُ وَالَّذِينَ
تَدْعُونَ مِنْ دُونِهِ مَا يَمْلِكُونَ مِنْ قِطْمِيرٍ ﴿١٣﴾ إِنْ
تَدْعُوهُمْ لَا يَسْمَعُوا دُعَاءَكُمْ وَلَوْ سَمِعُوا مَا اسْتَجَابُوا لَكُمْ
وَيَوْمَ الْقِيَامَةِ يَكْفُرُونَ بِشِرْكِكُمْ وَلَا يُنَبِّئُكَ مِثْلُ خَبِيرٍ
﴿١٤﴾ * يَا أَيُّهَا النَّاسُ أَنْتُمُ الْفُقَرَاءُ إِلَى اللَّهِ وَاللَّهُ هُوَ الْغَنِيُّ
الْحَمِيدُ ﴿١٥﴾ إِنْ يَشَاءْ يُدْهِبْكُمْ وَيَأْتِ بِخَلْقٍ جَدِيدٍ ﴿١٦﴾
وَمَا ذَلِكُ عَلَى اللَّهِ بِعَزِيزٍ ﴿١٧﴾ وَلَا تَنْزِيلٌ وَارِزَةٌ وَرَزْرَ أُخْرَى وَإِنْ
تَدْعُ مُثْقَلَةٌ إِلَىٰ جَمَلِهَا لِأَيِّحْمَلَ مِنْهُ شَيْءٌ وَلَوْ كَانَ ذَا قُرْبَىٰ
إِنَّمَا تُنذِرُ الَّذِينَ يَخْشَوْنَ رَبَّهُم بِالْغَيْبِ وَأَقَامُوا الصَّلَاةَ
وَمَنْ تَزَكَّىٰ فَإِنَّمَا يَتَزَكَّىٰ لِنَفْسِهِ وَإِلَى اللَّهِ الْمَصِيرُ ﴿١٨﴾

وَمَا يَسْتَوِي الْأَعْمَىٰ وَالْبَصِيرُ ﴿١٩﴾ وَلَا الظُّلُمَاتُ وَلَا النُّورُ
 ﴿٢٠﴾ وَلَا الظُّلُّ وَلَا الْحُرُورُ ﴿٢١﴾ وَمَا يَسْتَوِي الْأَحْيَاءُ وَلَا
 الْأَمْوَاتُ إِنَّ اللَّهَ يُسْمِعُ مَن يَشَاءُ وَمَا أَنتَ بِمُسْمِعٍ مَّن فِي
 الْقُبُورِ ﴿٢٢﴾ إِنَّ أَنتَ إِلَّا نَذِيرٌ ﴿٢٣﴾ إِنَّا أَرْسَلْنَاكَ بِالْحَقِّ بَشِيرًا
 وَنَذِيرًا وَإِن مِّنْ أُمَّةٍ إِلَّا خَلَا فِيهَا نَذِيرٌ ﴿٢٤﴾ وَإِن يُكَذِّبُوكَ
 فَقَدْ كَذَّبَ الَّذِينَ مِن قَبْلِهِمْ جَاءَتْهُمْ رُسُلُهُم بِالْبَيِّنَاتِ
 وَبِالزُّبُرِ وَبِالْكِتَابِ الْمُنِيرِ ﴿٢٥﴾ ثُمَّ أَخَذْتُ الَّذِينَ كَفَرُوا
 فَكَيْفَ كَانَ نَكِيرِ ﴿٢٦﴾ أَلَمْ تَرَ أَنَّ اللَّهَ أَنْزَلَ مِنَ السَّمَاءِ
 مَاءً فَأَخْرَجْنَا بِهِ ثَمَرَاتٍ مُّخْتَلِفًا أَلْوَانُهَا وَمِنَ الْجِبَالِ
 جُدَدٌ بَيْضٌ وَحُمْرٌ مُّخْتَلِفٌ أَلْوَانُهَا وَغَرَابِيبُ سُودٌ ﴿٢٧﴾
 وَمِنَ النَّاسِ وَالدَّوَابِّ وَأَلْأَنْعَامِ مُخْتَلِفٌ أَلْوَانُهُ وَكَذَلِكَ
 إِنَّمَا يَحْشَى اللَّهَ مِنْ عِبَادِهِ الْعُلَمَاءُ إِنَّ اللَّهَ عَزِيزٌ غَفُورٌ ﴿٢٨﴾
 إِنَّ الَّذِينَ يَتْلُونَ كِتَابَ اللَّهِ وَأَقَامُوا الصَّلَاةَ وَأَنفَقُوا مِمَّا
 رَزَقْنَاهُمْ سِرًّا وَعَلَانِيَةً يَرْتَجُونَ تِجَارَةً لَّن تَبُورَ ﴿٢٩﴾ لِيُؤْتِيَهُم
 أَجْرَهُمْ وَيَزِيدَهُم مِّن فَضْلِهِ إِنَّهُ غَفُورٌ شَكُورٌ ﴿٣٠﴾

について熟慮せよ。

⑲使徒よ、あなたはアッラーが天から雨を降らし、その水によって異なる色の果実を出したのを見ないのか？ **われら**がその木々に水を与えた結果、そこには赤、緑、黄色などの果実がある。また山々には白い道、赤い道、漆黒の道がある。

⑳また人々、生き物、家畜(ラクダ、牛、羊)にもさまざまな色がある。アッラーを偉大視し恐れるのは、**かれ**を知る者たち。その者たちは**かれ**の属性、法規定、力の印を知っているからである。アッラーは誰にも制圧されない偉大なお方であり、悔悟する僕たちの罪を赦されるお方。

㉑**われら**が使徒に下したアッラーの啓典を讀誦して、その内容を実践し、礼拝は最善の形で遂行し、**われら**が授けたものから秘密裏にまたは公に喜捨を施す者たち。かれらはそれらの行いによって、アッラーのもとで廃れることのない商売を所望する者たち。

㉒アッラーはかれらの行いに十全なる褒美を与え、そこに更なる恵みを追加される。かれはそれに相応しいお方であり、それらの特徴を持った者たちの罪をお赦しになり、かれらの善行に感謝されるお方である。

本諸節の功德:

- 真理とその徒、虚妄とその徒の平等性の否定。
- 使徒ムハンマド以前の使徒の数の多さは、アッラーの慈悲と人々の頑迷さの印。
- 嘘呼ばわりする者たちの破滅は、アッラーの慣行である。
- 信仰とは実り多い商売であり、不信仰とは破綻した商売である。

⑲盲人と目が見える者が異なるように、不信仰者と信仰者はその地位において異なる。

⑳闇と光が異なるように、不信仰と信仰は異なる。

㉑影と灼熱の風が異なるように、天国と地獄はその影響において異なる。

㉒生者と死者が異なるように、信仰者と不信仰者は異なる。アッラーは導きをお望みの者にお聞かせになる。そして使徒よ、あなたは墓場の死人のような不信仰者たちに、聞かせることは出来ない。

㉓あなたはかれらに対する、アッラーからの罰の警告者にすぎない。

㉔使徒よ、**われら**はあなたを、疑念の余地のない真理と共に遣わした。信仰者たちへは、アッラーがかれらに準備した豊かな褒美の吉報を伝え、不信仰者たちに対しては、かれがかれらに準備した痛烈な罰を警告する者として。過去の民にもアッラーのもとから、その罰を警告する使徒が遣わされてきたのである。

㉕使徒よ、あなたの民があなたを嘘よばわりしても、忍耐せよ。民によって嘘よばわりされた使徒は、あなたが初めてではない。アード、サムード、ルートの民といった過去の民も、その使徒たちを嘘よばわりのだ。それらの使徒たちはアッラーのもとから、自分たちの正しさを証明する明らかな論拠と共に、書巻と共に、それを熟慮する者にとっての輝かしい啓典と共に到来したのである。

㉖それにも関わらず、かれらはアッラーと使徒たちを否定し、かれらが**かれ**のもとからもたらしたものを信じなかった。それで**われ**は不信仰者たちを滅ぼした。使徒よ、かれらを滅亡させることになった、かれらへの**わが**否認

وَالَّذِي أَوْحَيْنَا إِلَيْكَ مِنَ الْكِتَابِ هُوَ الْحَقُّ مُصَدِّقًا لِمَاتَيْنِ
يَدِيهِ إِنَّ اللَّهَ بَعِيدٌ عَمَّا يُحْسِنُونَ ﴿٣٦﴾ ثُمَّ أَوْرَثْنَا الْكِتَابَ
الَّذِينَ أَحْصَفْنَا مِنْ عِبَادِنَا فَمِنْهُمْ ظَالِمٌ لِنَفْسِهِ وَمِنْهُمْ
مُقْتَصِدٌ وَمِنْهُمْ سَابِقٌ بِالْخَيْرَاتِ يُأْتِي اللَّهَ بِدَلَالَةٍ ذَلِكَ هُوَ
الْفَضْلُ الْكَبِيرُ ﴿٣٧﴾ جَنَّتٌ عَدْنٍ يَدْخُلُونَهَا يُحَلَّوْنَ
فِيهَا مِنْ أَشْوَارٍ مِنْ ذَهَبٍ وَأُكُلُوا فِيهَا شُهُبًا فِيهَا حَاسِرُونَ ﴿٣٨﴾
وَقَالُوا الْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي أَذْهَبَ عَنَّا الْحَزْنَ إِنَّ رَبَّنَا لَغَفُورٌ
شَكُورٌ ﴿٣٩﴾ الَّذِي أَحَلَّنَا دَارَ الْمُقَامَةِ مِن فَضْلِهِ لَا يَمَسُّنَا
فِيهَا نَصَبٌ وَلَا يَمَسُّنَا فِيهَا الْغُوبُ ﴿٤٠﴾ وَالَّذِينَ كَفَرُوا لَهُمْ
نَارُ جَهَنَّمَ لَا يُقْضَىٰ عَلَيْهِمْ فَيَمُوتُوا وَلَا يُخَفَّفُ عَنْهُمْ مِنْ
عَذَابِنَا كَذَلِكَ نَجْزِي كُلَّ كَافِرٍ ﴿٤١﴾ وَهُمْ يَصْطَرَّخُونَ
فِيهَا رَبَّنَا أَخْرِجْنَا نَعْمَلْ صَالِحًا غَيْرَ الَّذِي كُنَّا نَعْمَلُ
أَوَلَمْ نُعَمِّرْكُم مَّا يَتَذَكَّرُ فِيهِ مَنْ تَذَكَّرَ وَجَاءَكُمُ النَّذِيرُ
فَذُوقُوا فَمَا لِلظَّالِمِينَ مِنْ نَصِيرٍ ﴿٤٢﴾ إِنَّ اللَّهَ عَلِيمٌ
غَيْبِ السَّمَاوَاتِ وَالْأَرْضِ إِنَّهُ عَلِيمٌ بِذَاتِ الصُّدُورِ ﴿٤٣﴾

③①使徒よ、われらがあなたに啓示した啓典は、疑念の余地のない真理であり、過去の啓典を確認するものである。アッラーは僕たちを熟知され、ご覧になるお方。アッラーはあらゆる民の使徒に、その時代に必要なることを啓示する。

③②それからわれらは、他の数々の共同体から選んだムハンマドの共同体に、クルアーンを授けた。その中には禁止事項を犯し、義務行為を放棄することで、自らに不正を働く者がいる。また、義務行為を遂行し禁止事項は回避するものの、推奨行為の一部はせず、嫌われる行為の一部を行う、中ぐらいの者もいる。また、アッラーのお許しと共に善行に急ぐ者もいるが、それは義務行為と推奨行為を遂行し、禁止事項と嫌われる行為を回避することである。アッラーがこの共同体を選び、クルアーンを与えたことは、いかなる寵愛にも勝る大きな寵愛である。

③③かれら選ばれし者たちは天国に入り、そこで真珠と金のブレスレットを身につける。そこでの衣服は絹である。

③④永遠の天国に入った後、かれらは言う。「地獄に入ることの恐れを、わたしたちから取り除いてくれたアッラーに讃えあれ。アッラーは悔悟した僕の罪をお赦しになり、その服従行為に感謝されるお方。

③⑤かれはわたしたちをその寵愛によって、移転のない永遠の滞先に住まわせて下さった。それは、わたしたちの力によるものではない。そこでは疲れも苦しみもない。」

選ばれし者たちの報いが描写された後、アッラーは最悪の者たちである不信仰者たちへの報いに言及して、言う。

③⑥アッラーを否定した者たちには、永遠の地獄の炎がある。かれらは死を与えられて死ぬことで罰から安らぐことも出来ず、地獄の罰を軽減されることもない。われらは審判の日、主の恩恵を否定した全ての者に、このような罰をもって報いののだ。

③⑦かれらはそこで大きな声を上げて救いを求め、叫ぶ。「主よ、わたしたちを地獄から出して下さい。そうすればあなたの喜びを得るために、現世でしていたのとは違う正しい行いをして、あなたの罰から逃れます。」するとアッラーは答える。「われらはあなたがたに、教訓を得たい者が教訓を得てアッラーに悔悟し、善行を行えるだけの年月を生かさせたのではないかとあなたがたには、アッラーの罰を警告する使徒が到来したのではないかとあなたがたに言い訳は出来ない。地獄の罰を味わえ。不信仰と罪で自らに不正を働いた者たちには、罰から救ったり、罰を軽減してくれたりする、いかなる援助者もないのだ。」

③⑧アッラーは天地における不可視の世界を余すことなくご存知で、僕がその心の内に潜めている善いことも悪いこともご存知のお方。

本諸節の功德:

- 他の共同体に対するムハンマドの共同体の優越性。
- 信徒の信仰レベルの違いは、現世と来世における位階の違いを表す。
- 時間は守るべき信託である。それを粗末に扱う者には、後悔が無意味になる日の後悔がある。
- アッラーの知識は全てを網羅する。

هُوَ الَّذِي جَعَلَكُمْ خَلَائِفَ فِي الْأَرْضِ فَمَنْ كَفَرَ فَعَلَيْهِ كُفْرُهُ وَلَا
 يَزِيدُ الْكَافِرِينَ كُفْرُهُمْ عِنْدَ رَبِّهِمْ إِلَّا مَقْتًا وَلَا يَزِيدُ الْكَافِرِينَ
 كُفْرُهُمْ إِلَّا خَسَارًا ﴿٤٣٩﴾ قُلْ أَرَأَيْتُمْ شُرَكَاءَ كُ الَّذِينَ تَدْعُونَ مِنْ
 دُونِ اللَّهِ أَرُونِي مَاذَا خَلَقُوا مِنَ الْأَرْضِ أَمْ لَهُمْ شِرْكٌ فِي السَّمَوَاتِ
 أَمْ آتَيْنَاهُمْ كِتَابًا فَهُمْ عَلَىٰ بَيِّنَتٍ مِّنْهُ بَلْ إِن يَعِدُ الظَّالِمُونَ
 بَعْضُهُمْ بَعْضًا إِلَّا غُرُورًا ﴿٤٤٠﴾ إِنَّ اللَّهَ يُمَسِّكُ السَّمَوَاتِ
 وَالْأَرْضَ أَنْ تَزُولَا وَلَئِن زَالَتَا إِنْ أَمْسَكَهُمَا مِنْ أَحَدٍ مِنْ عِبَادِهِ
 إِنَّهُ وَكَانَ حَلِيمًا غَفُورًا ﴿٤٤١﴾ وَأَقْسَمُوا بِاللَّهِ جَهْدَ أَيْمَانِهِمْ لَئِنْ جَاءَهُمْ
 نَذِيرٌ لَّيَكُونُنَّ أَهْدَىٰ مِنْ إِحْدَى الْأُمَمِ فَلَمَّا جَاءَهُمْ نَذِيرٌ
 مَّا زَادَهُمْ إِلَّا نُفُورًا ﴿٤٤٢﴾ أَسْتَكْبَرُوا فِي الْأَرْضِ وَمَكْرُ السَّيِّئِ
 وَلَا يَحِيقُ الْمَكْرُ السَّيِّئِ إِلَّا بِأَهْلِهِ فَهَلْ يَنْظُرُونَ إِلَّا سُنَّتَ
 الْأَوَّلِينَ فَلَنْ تَجِدَ لِسُنَّتِ اللَّهِ تَبْدِيلًا وَلَنْ تَجِدَ لِسُنَّتِ اللَّهِ تَحْوِيلًا
 ﴿٤٤٣﴾ أَوَلَمْ يَسِيرُوا فِي الْأَرْضِ فَيَنْظُرُوا كَيْفَ كَانَ عَاقِبَةُ الَّذِينَ مِنْ
 قَبْلِهِمْ وَكُنُوا أَشَدَّ مِنْهُمْ قُوَّةً وَمَا كَانَ اللَّهُ لِيُعْجِزَهُ مِنْ شَيْءٍ
 فِي السَّمَوَاتِ وَلَا فِي الْأَرْضِ إِنَّهُ كَانَ عَلِيمًا قَادِرًا ﴿٤٤٤﴾

المؤمنين
٤٤

ら悪巧みをする高慢な者たちは、アッラーの不変の定め、つまり過去の者たちが滅ぼされたように滅ぼされることを待っているに他ならない。あなたは高慢な者たちが滅ぼされるというアッラーの定め、代替も移転も見出すことはない。つまりそれが起こらなかったり、別の誰かに降りかかったりすることはない。

44) あなたを嘘よばわりするクライシュ族は地上を旅し、嘘よばわりした過去の民の最期がいかなるものだったか熟考しないのか？かれらはクライシュ族よりも強力だったが、その最期はアッラーによる破滅という悪いものではなかったのか？天地においてアッラーから逃れられるものはない。かれはそれら嘘よばわりする者たちの行いについて、余すことなくご存知である。そしてお望みになった時いつでも、滅ぼすことができるのだ。

本諸節の功德:

- 不信仰はアッラーのお怒りを招き、損失と不幸を呼ぶ。
- 多神教徒たちは多神教の根拠を、理性にも啓示にも見出せない。
- アッラーの差配により、不正者は遅かれ早かれ滅亡すること。

39) 人々よ、かれはあなたがたの行いを試すため、地上であなたがたを互いに引き継ぐ者とされたお方。アッラーと諸使徒がもたらしたものを否定する者の罪と罰は、その者自身にある。その不信仰が主を害することはない。不信仰者たちの不信仰者は、その主のもので激しい憎悪を呼び、その不信仰は損失しかもたらさない。もし信仰していればアッラーが天国で準備していたものを、かれらは失うのである。

40) 使徒よ、かれら多神教徒たちに言え。「あなたがたがアッラーをよそに崇拝している共同者たちについて、わたしに言ってみよ。それらは地上で何を創造したのか？山々を、河川を、生き物を創造したのか？それとも天の創造における、アッラーの共同者なのか？われらはかれらに、それら共同者たちの崇拝を正当化する根拠を含む啓典を、与えたというのか？」そのいずれも否である。不信仰と罪で自らに不正を働く者たちは、互いに欺瞞を約束し合っているに過ぎない。

41) アッラーは天地が消失しないよう、支えている。もしそれらが崩れたら、かれを除いてそれらを支える者はいない。かれは罰をお急ぎにならない寛容なお方。悔悟した僕の罪をお赦しになるお方。

42) かれら不信仰者たちは、厳粛に誓って言う。もしアッラーのもとからその罰を警告する使徒がやって来たら、かれらはユダヤ教徒やキリスト教徒やその他の者たちよりも真理の服従において確立した者となる。と。しかし主からムハンマドが遣わされ、アッラーの罰について警告しても、かれらは真理から遠ざかり、虚妄にしがみつくだけだった。以前の者たちよりも正しく導かれるという厳粛な誓いを、果たさなかったのである。

43) アッラーにおいてかれらが誓ったのは、正しくよい意図ではなく、地上における高慢さと、人々への欺瞞のためだった。悪巧みは、それを行う者自身を包囲する。かれら

وَلَوْ يُؤَاخِذُ اللَّهُ النَّاسَ بِمَا كَسَبُوا مَا تَرَكَ عَلَى ظَهْرِهَا
 مِنْ دَابَّةٍ وَلَكِنْ يُؤَخِّرُهُمْ إِلَىٰ أَجَلٍ مُّسَمًّى فَإِذَا
 جَاءَ أَجَلُهُمْ قَارِبَ اللَّهِ كَانَ يُعَٰدِيهِ بِبَصِيرَةٍ ٤٥

سُورَةُ يَس
 ٣٦
 ٨٣

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

يَس ١ وَالْقُرْءَانَ الْحَكِيمِ ٢ إِنَّكَ لِمِنَ الْمُرْسَلِينَ ٣ عَلَىٰ
 صِرَاطٍ مُّسْتَقِيمٍ ٤ تَنْزِيلَ الْعَزِيزِ الرَّحِيمِ ٥ لَتُنذِرَ قَوْمًا
 مَّا أُنذِرَ آبَاؤُهُمْ فَهُمْ غَافِلُونَ ٦ لَقَدْ حَقَّ الْقَوْلُ عَلَىٰ أَكْثَرِهِمْ
 فَهُمْ لَا يُؤْمِنُونَ ٧ إِنَّا جَعَلْنَا فِي أَعْنَاقِهِمْ أَغْلَالًا فَهِيَ إِلَىٰ
 الْأَذْقَانِ فَهُمْ مُّقْمَحُونَ ٨ وَجَعَلْنَا مِنْ بَيْنِ أَيْدِيهِمْ سَدًّا
 وَمِنْ خَلْفِهِمْ سَدًّا فَأَغْشَيْنَاهُمْ فَهُمْ لَا يُبْصِرُونَ ٩ وَسَوَاءٌ
 عَلَيْهِمْ أُنذِرْتَهُمْ أَمْ لَمْ تُنذِرْهُمْ لَا يُؤْمِنُونَ ١٠ إِنَّمَا تُنذِرُ
 مَنِ اتَّبَعَ الذِّكْرَ وَخَشِيَ الرَّحْمَنَ الْعَلِيمَ ١١ فَبَشِّرْهُ بِمَغْفِرَةٍ
 وَأَجْرٍ كَرِيمٍ ١٢ إِنَّا نَحْنُ نُحْيِي الْمَوْتَىٰ وَنَكْتُبُ مَا قَدَّمُوا
 وَآخَّرُوا وَكُلُّ شَيْءٍ أَحْصَيْنَاهُ فِي إِمَامٍ مُّبِينٍ ١٣

ヤール・スィーン章 440 部 22

④⑤ もしアッラーが、犯した罪によって人間を罰するなら、直ちに**かれ**は地上にはまったく人間も動物も財産も残さないほどの破壊をもたらしたであろう。しかし**かれ**は定められた期限(復活の日)まで、かれらに猶予を与える。そしてその期限が来たとき、確かに、アッラーは僕たちを監視し、何も隠せなくする。行ってきたことで報い、善には善を悪には悪を持って対処される。

36. ヤール・スィーン章

マッカ啓示

本章の趣旨:

メッセージと復活の確認とそれらの証拠。

説明:

① ヤール・スィーン。同類の表現については、雌牛章の初めで説明した。

② アッラーは英明なクルアーンにかけて誓う。その前にも、後ろにも虚偽がやってくることはない。

③ 使徒よ、誠にあなた(ムハンマド)は使徒の一人で、アッラーが僕に対して、単一であり礼拝の唯一の対象であることを教えるために遣わされた。

④ ⑤ まっすぐな道と正しい教えの上に。このまっすぐな道と正しい教えこそは、偉力大かつ慈悲深いお方から下されたものである。

⑥ あなたは、先祖が警告を受けておらず、それで留意していない民に警告するのだ。アラブ人には預言者が遣わされておらず、かれらは信仰と一神教に不注意である。しかし警告の途切れてしまった民族はすべて同様であり、使徒によって警告が発せられる必要があるのだ。

⑦ 真実が使徒によって伝えられても、かれらの多くは信仰しないままなので、アッラーの懲罰が下されることとなった。かれらはアッラーもその使徒も信じないままで、到来した真実によって行動することはない。

⑧ かれらは信仰もなく、導かれてもいない。それを例えれば首かせがはめられてそれが顎(あご)まであり、手もそこに結び付けられている者のようだ。そしてかれらの頭は上向きになり下には下げられず、アッラーを信仰することが妨げられて頭を下げての服従も叶わなくなっているのだ。

⑨ **われら**はかれらの前面に障壁を設け、背面にも障壁を設け、さらに、かれらに覆いをした。それでもう、かれらは真実を見ることができなくなった。かれらの不信仰の頑固さと執拗さが明確となったから、そうしたのだ。

⑩ ムハンマドよ、あなたが警告しても警告しなくても、かれらにとっては同じで、かれらはアッラーからの真実を信じない。

⑪ あなたの警告が役立つものは、この(クルアーン)を信じ、その教えに従い、独りいるときに主を畏れる人だけである。だから、その人に赦しと偉大な報奨の吉報を伝えよ。それは楽園に入るということに他ならない。

⑫ 確かに**われら**は、復活によって死者に命を与え、またかれらが(現世で)行なった善も悪も、かれらの足跡を記録する。そしてかれらの永続する施しといった善行や不信仰のような悪行を、**われら**はすべて明瞭な保存された記録の書板に数え上げるのだ。

本諸節の功德:

- 頑固さは真実への導きの障害となる。
- クルアーンに従う行動や、アッラーを畏れることは、楽園に入る原因である。
- 信仰する正しい子供や永続する施しなどは、信者にとっての徳である。

وَأَضْرَبَ لَهُمْ مَثَلًا أَصْحَابَ الْقَرْيَةِ إِذْ جَاءَهَا الْمُرْسَلُونَ
 ١٣ إِذْ أَرْسَلْنَا إِلَيْهِمُ اثْنَيْنِ فَكَذَّبُوهُمَا فَعَزَّزْنَا بِثَالِثٍ فَقَالُوا
 إِنَّا إِلَٰهُكُمْ مُّرْسَلُونَ ١٤ قَالُوا مَا أَنْتُمْ إِلَّا بَشَرٌ مِثْلُنَا
 وَمَا أَنْزَلَ الرَّحْمَنُ مِنْ شَيْءٍ إِنْ أَنْتُمْ إِلَّا تَكْذِبُونَ ١٥ قَالُوا
 رَبَّنَا عَلِّمْنَا لِنَا أَلْفَافًا لَعَلَّ نُنْفِذُهَا وَإِنَّا نَحْنُ قَوْمٌ عَادُونَ ١٦
 قَالُوا إِنَّا نَطِيقُنَا بِكُمْ لَيْنًا لَئِن لَّمْ تَنتَهُوا لَنَرْجُمَنَّكُمْ
 وَلَيَمَسَّنَّكُم مِّنَّا عَذَابٌ أَلِيمٌ ١٧ قَالُوا طَائِفُكُمْ مَعَكُمْ أَيْنَ
 ذُكِّرْتُمْ بَلْ أَنْتُمْ قَوْمٌ مُّسْرِفُونَ ١٨ وَجَاءَ مِنْ أَقْصَا الْمَدِينَةِ
 رَجُلٌ يَمْسَعِي قَالَ يُقَوْمُ اتَّبِعُوا الْمُرْسَلِينَ ١٩ اتَّبِعُوا
 مَن لَّا يَسْأَلْكُمْ أَجْرًا وَهُمْ مُّهْتَدُونَ ٢٠ وَمَالِيَ لَآ أَعْبُدُ
 الَّذِي فَطَرَنِي وَإِلَيْهِ تُرْجَعُونَ ٢١ ءَأَتَّخِذُ مِنْ دُونِهِ ءَالِهَةً
 إِن يَرِدْ نِ الرَّحْمَنُ بِضُرٍّ لَّا تُعْنِي عَنِّي شَفَاعَتُهُمْ شَيْئًا
 وَلَا يُفْقِدُونَ ٢٢ إِنِّي إِذْ لَفِي ضَلَالٍ مُّبِينٍ ٢٣ إِنِّي ءَأَمَنْتُ
 بِرَبِّكُمْ فَاسْمَعُونِ ٢٤ قِيلَ ادْخُلِ الْجَنَّةَ قَالَ يَلِيَّتْ قَوْمِي
 يَعمُومُونَ ٢٥ بِمَا عَفَرَ لِي رَبِّي وَجَعَلَنِي مِنَ الْمُكْرَمِينَ ٢٦

13 使徒よ、その町の頑なな住民の話、例としてかれらに示すとよいだろう。使徒たちがそこにやって来たときのこととして。

14 われらが2人の使徒を遣わしたとき、かれら住民は2人を嘘つき呼ばわりした。そこで、われらは第3の者で強化した。そしてかれら使徒たちは言った。確かに、わたしたちはあなた方に、アッラーの唯一性とその定めに従うように呼び掛けるために遣わされた者である。

15 かれらは言った。あなた方はわたしたちと同じ人間にすぎない。慈悲あまねきお方は何も啓示されてはいないのだ。あなた方は嘘をついているだけだ。

16 かれら3人の使徒たちは言った。わたしたちがあなた方に遣わされた者であることは、わたしたちの主がご存知だ。それで十分な証拠である。

17 わたしたちの務めは明らかな啓示の伝達のみである。あなた方を導く者ではない。

18 かれら(住民)は言った。わたしたちにとってあなた方は不吉な兆候だ。もし止めないなら、あなた方を石打ちにするだろう。そして、わたしたちからの厳しい苦痛が襲うのだ。

19 かれら使徒たちは言った。あなた方自身が不吉な兆なのだ。あなた方は諭されているのに、それを拒否するからである。アッラーを想起して、何が不吉な知らせであるのか、熟慮しなければいけない。あなた方は使徒に反して、あまりに掟破りの民なのだ。

20 そのとき、町のはずれから一人の男が、人々の不信仰と使徒殺害の脅かしを恐れて、走って来て言った。人々よ、これらの使徒たちに従いなさい。

21 あなた方に何の報酬も求めない人に従いなさい。かれらは正しく導かれています。こういった人々の言うことには、従うべきです。

22 この善意の男は言った。わたしを創った方に仕えないなど、どうしてできるでしょう。あなた方も復活の後には、かれに帰されるのです。

23 創造主のアッラーを差し置いて他の神々を配することができるでしょうか。もし慈悲あまねきお方がわたしに災いを望むなら、神々の執り成しは少しも役に立たず、またアッラーが意図された懲罰からわたしを救うこともできません。

24 そうしたら明らかに価値のない神々を崇めたことになり、わたしは間違いを犯したことになります。

25 人々よ、わたしは、わたしとあなた方の主を信じます。殺されるという脅迫を恐れませんが。しかしかれらのかれに対する殺害は敢行されたので、アッラーはかれを楽園に入れたのであった。

26 27 かれは、殉教者として楽園に入りなさいと言われた。そこへ入ってそこにある安寧を目にした後に、かれは言った。罪が赦されることや、わたしに与えられた報奨を、人々が知っていればよかったのに。そうすれば、かれらもわたしと同様に信仰し、わたしのように報いられていただろうに、と。

本諸節の功德:

- アッラーへの呼び掛けにおける、物語の重要性。
- 何らかの事実が不吉をもたらすと考えることは、不信であること。
- 真実の人々に助言するのは、義務であること。
- 人に幸運と善を願うことは、信じる人の特性である。